

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組

# 多職種協働による在宅がん医療・ 緩和ケアを担う専門人材育成拠点 平成25年度 年間活動報告書



在宅医療・福祉コンソーシアム長崎

長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、長与町、佐世保市、  
長崎県薬剤師会、長崎県病院薬剤師会、長崎県看護協会、長崎県医師会、長崎県歯科医師会、長崎県歯科衛生士会、  
長崎県理学療法士協会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県栄養士会、長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会



在宅医療・福祉コンソーシアム長崎

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組

多職種協働による在宅がん医療・  
緩和ケアを担う専門人材育成拠点  
平成25年度 年間活動報告書



## 目 次

はじめに	3
<b>事業概要</b>	<b>5</b>
取組紹介	6
実施体制	8
「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」委員一覧	11
<b>活動報告</b>	<b>13</b>
大学教育プログラム	15
「在宅がん治療概論」／「在宅ケア概論」／「在宅緩和ケア概論」／「在宅医療概論」／「在宅チーム医療早期体験学習」／「地域包括ケア早期体験学習」／「薬物治療実践学」／「在宅看護論」／「在宅がん治療特論」 ／「在宅がん医療・緩和ケア合同実習」	
第1回長崎県民フォーラム	34
第2回長崎県民フォーラム	35
第3回長崎県民フォーラム	36
教育セミナー	37
本部委員会会議	38
推進委員会会議	39
運営委員会会議	40
学会等参加	42
平成26・27・28年度の事業計画	46
<b>点検・評価</b>	<b>49</b>
評価委員会会議	50
<b>事業カレンダー</b>	<b>57</b>
平成25年度事業カレンダー	58
平成24年度事業カレンダー(参考)	64
<b>資料</b>	<b>65</b>
チラシ・抄録等	66
構成大学	69
総括	70
おわりに	71

# はじめに



長崎大学理事・副学長  
調 漸  
(事業推進責任者・本部委員会委員長)

「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」がスタートして早くも2年間に過ぎようとしています。長崎県立大学、長崎国際大学と本学の3大学が共同し長崎市、佐世保市、長与町をフィールドとして、医療から福祉に渡る12職能団体の協力を得て多職種連携ができる医療・福祉系の学生を育成するという試みは少しずつですが、着実な歩みを刻んでいます。座学に始まったプログラムも今年度は夏期休暇期間を使った実習も協働で始まっています。

平成26年2月22日に長崎大学で開かれた私たち在宅医療・福祉コンソーシアム長崎主催の第3回長崎県民フォーラムでは実習に参加した経験を医学、薬学、歯学、看護学をそれぞれ学びはじめた学生達が昨年の夏の経験と学びを語ってくれました。2人が1年生、他に2年生1名、3年生1名という構成ながら歯学部学生が全身を理解する歯科医師になりたいと言い、医学生が患者を理解するだけでなく患者を取り巻く家族を理解する医師になりたいと語ってくれました。更に、薬学生は薬剤部や薬局を飛び出て地域を走り回る薬剤師を自らの将来像と照らし合わせていました。看護学生は最も在宅の患者に近い立場で寄り添う自覚とともに、多職種協働の要としての自覚も持ちつつあるように見受けられました。

在宅の患者とその家族からの学びから学生が大きく育ってゆく事実を見せられて、教育現場としての在宅医療・福祉の果たす役割の重要性を教えられている気がします。





# 事業概要

# 取組紹介

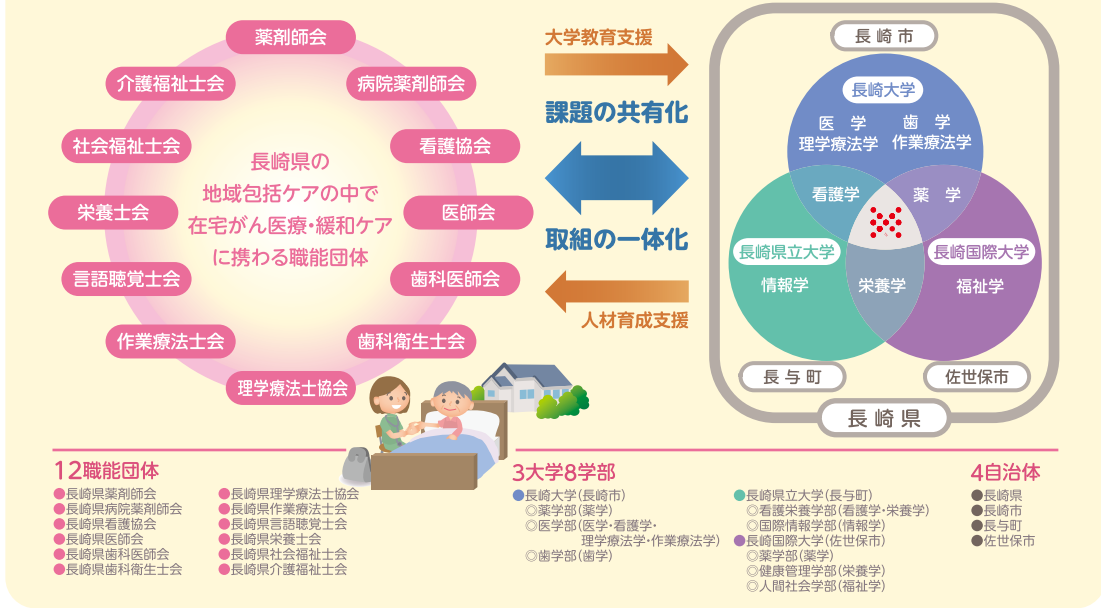
## 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」選定取組 「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

わが国の保健医療分野では多職種協働による在宅医療体制の整備が重要な課題となっており、地域包括ケアの中で在宅がん患者の療養支援を行う体制整備を推進する必要性は高い。そこで、薬学・看護学の統合教育体制を確立している長崎県内の国公私立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が、さらに医学・歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図り、県内の4自治体・12職能団体と連携・一体となって、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成の拠点作りを目指す取組である。

### プロジェクト概要

連携取組の実現に向けた実施体制

### 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎



長崎薬学・看護学連合コンソーシアムのロゴマーク  
長崎県内で薬剤師と看護師の養成課程を持つ国公私立3大学が、1自治体・5職能団体と連携し、平成21年度から活動を行っているコンソーシアム。

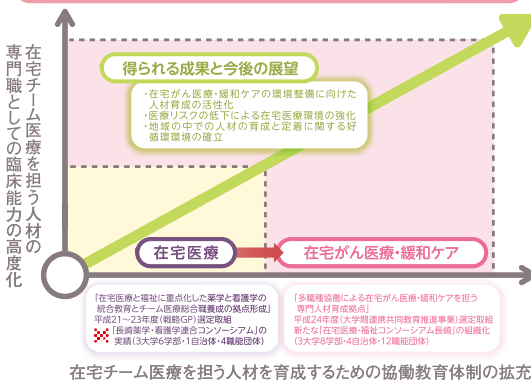
### 連携取組の内容

在宅医療・がん医療・緩和ケアの教育を学習アウトカムを重視した順次性カリキュラムに基づく大学間単位互換の合同授業・合同実習として「NICE キャンパス長崎」に登録し、大学間連携教育の実質化と質保証を図る。さらに、大学と地域の連携に基づく協働教育により当該地域の中の循環型人材育成体制を確立する。

### 期待される効果

3大学の保健医療・福祉分野の学生は、多職種協働の必要性を認識し、自らの専門分野とは異なる分野のケアに関する基礎力・応用力・実践力を身につけ、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性・協調性を修得できる。さらに、医療と福祉の専門職による在宅がん医療・緩和ケアの協働支援体制整備に向けた人材育成環境が活性化されることで地域の医療リスクが低下し、在宅医療環境が強化される。

### 在宅がん医療・緩和ケアの環境整備に向けた多職種協働による在宅チーム医療体制の発展・充実



### 構成大学および各事務局連絡先



在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 <http://www.hhc-nagasaki.jp/>

## 連携取組で育てたい人材像とは。

この取組で目指すのは、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性と協調性を身につけ、在宅がん医療に貢献できる人材の育成です。

## そのような人材を必要とする背景には、どのような課題があるのでしょうか。

保健医療分野では、当該地域における在宅医療体制の整備は急務であり、在宅がん患者の療養支援を担う人材育成は、地域の大学群が連携地域の現場と一体となり取り組むべき重要なテーマです。

## なぜこの3大学で連携することになったのですか。

3大学の薬学と看護学の学部が連携した「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」の活動が基礎となっています。本取組では、在宅がん患者の療養支援ができる人材を育成するため、さらに医学・歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図り、3大学8学部でタッグを組むことにしました。具体的には、医学・歯学・薬学・看護学・リハビリテーション学の教育に強みを持つ長崎大学、看護学・栄養学・情報学の教育に強みを持つ長崎県立大学、そして薬学・栄養学・福祉学の教育に強みを持つ長崎国際大学の3大学が連携し、目指す人材の育成に必要な力を結集します。

## 取組は5年間実施します。どのような計画を立てていますか。

平成24年度は、3大学が県内の4自治体・12職能団体と一体となった「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」を設立し、本取組を遂行するための基盤整備を行います。平成25年度からは「地域がん包括ケアの早期体験学習」という実習科目を始め5科目の大学間合同による単位互換科目を開講します。その後は毎年、既に開講した科目のカリキュラムを見直ししながら、演習や実習の科目数を増やし、平成28年度には10科目を超える大学間合同による単位互換科目を開講し、プログラムの体系化を図る予定です。また、取組の期間終了後も開講した科目は継続していきたいと考えています。

## この事業に採択されたことで、新たにどのようなことができるようになりますか。

在宅がん医療・緩和ケアの実務家である教員を3大学に配置することで、大学内及び大学間における実行性のある連携教育を展開するための体制基盤ができました。

## 取組の中には、各大学等でこれまで行っていた活動のレベルアップを図るものもあると思いますが、それはどのようなものですか。

既に確立している在宅チーム医療に関する薬学と看護学の統合教育体制を基に、医学や歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図ります。毎年300人程度の連携校の学生が「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア」について、各分野の専門家から直接指導を受けることができます。

## 連携の成果はどのような形で社会に示すことができるのでしょうか。具体的な成果指標のイメージはありますか。

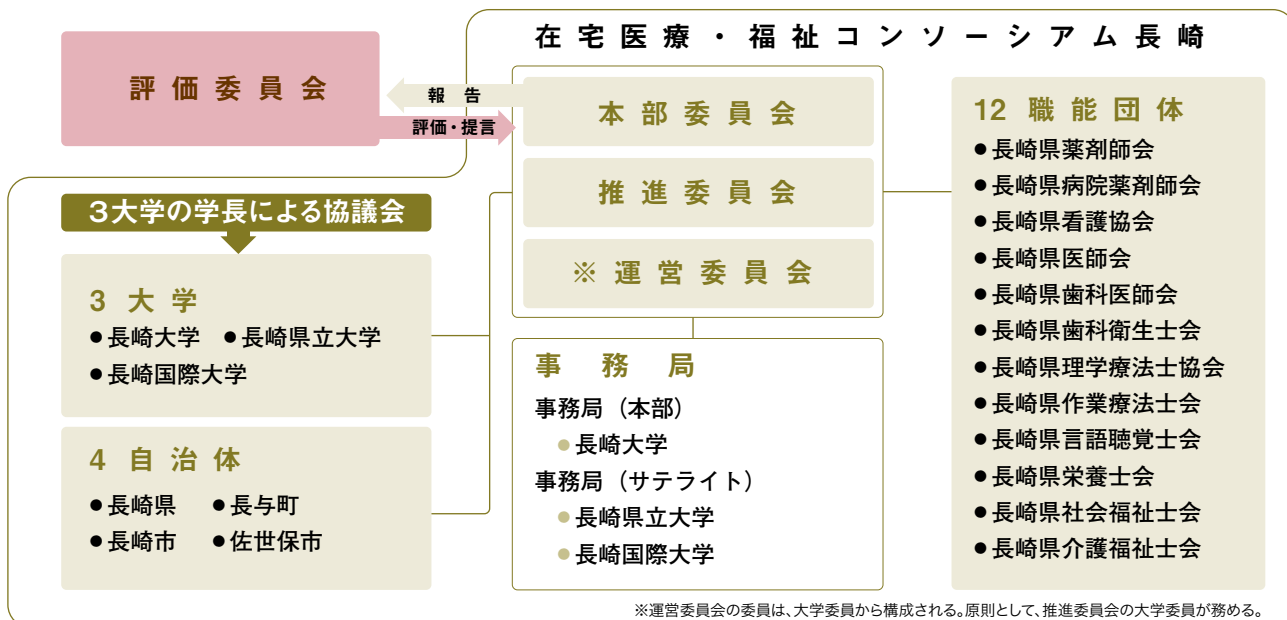
学生は多職種協働の必要性を認識し、自らの専門分野とは異なる分野のケアに関する基礎力、応用力、実践力を身につけ、在宅がん患者の療養支援ができる専門性を修得できます。これは学習アウトカムの達成度をもって確認します。地域の在宅医療機関や福祉施設で広く活躍するよう全力で取組を進めてまいります。

※平成24年度 大学間連携共同教育推進事業（文部科学省・平成25年2月発行）より抜粋



# 実施体制

## 運営体制と評価体制



・コンソーシアムを構成する自治体・職能団体は、大学との協働により科目の開発、授業担当者の派遣、実習施設の提供、実施後の科目の点検を行い、更にプロジェクト全体の評価を行う。  
・本部委員会(年2回)、推進委員会(年2回)、運営委員会(年6回)を開催することにより、連携機関との定期的な協議の場を設ける。

## 本部委員会

本部委員会は、コンソーシアムの組織における最上位に位置する意思決定機関であり、コンソーシアムが連携取組を円滑に展開するための事業運営について審議する。

本部委員会		3 大学		4 自治体		12 職能団体	
長崎大学	調 漸 <b>委員長</b>	長崎県	濱本 磨毅穂	長崎県薬剤師会	宮崎 長一郎		
	下川 功	長崎市	早田 篤	長崎県病院薬剤師会	佐々木 均		
	松坂 誠應	長与町	田島 弘明	長崎県看護協会	副島 都志子		
	中山 浩次	佐世保市	赤瀬 隆彦	長崎県医師会	蒔本 恭		
	中山 守雄			長崎県歯科医師会	許斐 義彦		
	中嶋 幹郎			長崎県歯科衛生士会	猪野 恵美		
長崎県立大学	松本 幸子 <b>副委員長</b>			長崎県理学療法士協会	塩塚 順		
	大曲 勝久			長崎県作業療法士会	沖 英一		
	庄山 茂子			長崎県言語聴覚士会	田上 由貴子		
長崎国際大学	榊原 隆三 <b>副委員長</b>			長崎県栄養士会	吉田 共榮		
	姫野 勝			長崎県社会福祉士会	毛利 宣子		
	矢野 捷介			長崎県介護福祉士会	有村 俊男		
	木村 勝彦						

平成26年3月現在

# 推進委員会

推進委員会は、コンソーシアムの組織における事業推進機関であり、コンソーシアムが連携取組を円滑に展開するための事業内容及び事業計画について審議し、その結果を本部委員会と運営委員会に報告する。



# 運営委員会

運営委員会は、コンソーシアムの組織における実行機関であり、コンソーシアムが連携取組を円滑に展開するための事業内容及び事業計画の立案、連携取組の実行の任務に当たり、その内容を推進委員会に報告する。



※運営委員会の委員は、大学委員から構成される。原則として、推進委員会の大学委員が務める。

## 評価委員会

評価委員会は、コンソーシアムの組織における評価機関であり、連携取組の内容に対する評価及び提言を行う。

### 評価委員会

九州大学医学部	吉田 素文
九州大学歯学部	中村 誠司
熊本大学薬学部	丸山 徹 <small>委員長</small>
神戸市看護大学	鈴木 志津枝
長崎リハビリテーション病院	栗原 正紀
九州女子大学家政学部	巴 美樹
長崎ウエスレヤン大学	森 泰一郎
日本在宅薬学会	狭間 研至

平成26年3月現在

# 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」委員一覧

(敬称略、順不動)

長崎大学	
調 漸	長崎大学理事・副学長 (事業推進責任者、本部委員会委員長)
下 川 功	長崎大学医学部長 (本部委員会委員)
松坂 誠 應	長崎大学医学部保健学科長 (本部委員会委員)
安 武 亨	長崎大学医学部医学科教授 (推進委員会委員、運営委員会委員)
前田 隆 浩	長崎大学医学部医学科教授 (推進委員会委員、運営委員会委員)
楠 葉 洋子	長崎大学医学部保健学科准教授 (推進委員会委員、運営委員会委員)
山之内 孝彰	長崎大学医学部医学科助教 (専任教員、推進委員会委員、運営委員会委員)
江 口 真 美	長崎大学医学部保健学科助教 (専任教員、推進委員会委員、運営委員会委員)
中山 浩 次	長崎大学歯学部長 (本部委員会委員)
齋藤 俊 行	長崎大学歯学部教授 (推進委員会委員、運営委員会委員)
介 田 圭	長崎大学歯学部助教 (専任教員、推進委員会委員、運営委員会委員)
中山 守 雄	長崎大学薬学部長 (本部委員会委員)
中 嶋 幹 郎	長崎大学薬学部教授 (本部委員会委員、推進委員会委員長、運営委員会委員長)
江頭 かの子	長崎大学薬学部准教授 (専任教員、推進委員会副委員長、運営委員会副委員長)

長崎県立大学	
松本 幸子	長崎県立大学看護栄養学部看護学科教授 (本部委員会副委員長、推進委員会委員、運営委員会委員)
大曲 勝久	長崎県立大学看護栄養学部長 (本部委員会委員)
永 峯 卓 哉	長崎県立大学看護栄養学部看護学科准教授 (推進委員会委員、運営委員会委員)
駿 河 和 仁	長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科准教授 (推進委員会委員、運営委員会委員)
吉原 律子	長崎県立大学看護栄養学部看護学科准教授 (専任教員、推進委員会委員、運営委員会委員)
庄山 茂子	長崎県立大学国際情報学部長 (本部委員会委員)
前村 葉子	長崎県立大学国際情報学部講師 (推進委員会委員、運営委員会委員)

長崎国際大学	
榊原 隆三	長崎国際大学薬学部教授 (本部委員会副委員長、推進委員会委員、運営委員会委員)
姫野 勝	長崎国際大学薬学部長 (本部委員会委員)
山本 経之	長崎国際大学薬学部薬学科長 (推進委員会委員)
岩下 淳二	長崎国際大学薬学部准教授 (専任教員、推進委員会委員、運営委員会委員)
大 磯 茂	長崎国際大学薬学部准教授 (運営委員会委員)
矢野 捷介	長崎国際大学健康管理学部長 (本部委員会委員)
野村 秀一	長崎国際大学健康管理学部健康栄養学科長 (推進委員会委員)
林 俊 介	長崎国際大学健康管理学部講師 (運営委員会委員)
木村 勝彦	長崎国際大学副学長・人間社会学部長 (本部委員会委員)
豊 島 律	長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科長 (推進委員会委員)
山崎 久子	長崎国際大学人間社会学部教授 (運営委員会委員)

長崎県	
濱本 磨毅穂	長崎県福祉保健部長 (本部委員会委員)
川 良 数 行	長崎県福祉保健部医療政策課長 (参事監) (推進委員会委員)
山 口 正 広	長崎県福祉保健部薬務行政室長 (推進委員会委員)

長崎市	
早 田 篤	長崎市保健所長 (本部委員会委員)
南 涼 子	長崎市市民局福祉部高齢者すこやか支援課長 (推進委員会委員)

長与町	
田 島 弘 明	長与町生活福祉部長 (本部委員会委員)
小 佐 々 司	長与町生活福祉部健康保険課長 (推進委員会委員)

佐世保市	
赤 瀬 隆 彦	佐世保市保健福祉部長 (本部委員会委員)
松 本 裕 成	佐世保市保健福祉部医療政策課長 (推進委員会委員)

長崎県薬剤師会	
宮 崎 長 一 郎	長崎県薬剤師会会長 (本部委員会委員)
中 野 正 治	長崎県薬剤師会副会長 (推進委員会委員)

長崎県病院薬剤師会	
佐々木 均	長崎県病院薬剤師会会長 (本部委員会委員)
町田 毅	長崎県病院薬剤師会副会長 (推進委員会委員)

長崎県看護協会	
副島 都志子	長崎県看護協会会長 (本部委員会委員)
道辻 美佐子	長崎県看護協会在宅支援事業部長 (推進委員会委員)

長崎県医師会	
蒔本 恭	長崎県医師会会長 (本部委員会委員)
上戸 穂高	長崎県医師会常任理事 (推進委員会委員)

長崎県歯科医師会	
許斐 義彦	長崎県歯科医師会会長 (本部委員会委員)
吉田 敏	長崎県歯科医師会理事 (推進委員会委員)

長崎県歯科衛生士会	
猪野 恵美	長崎県歯科衛生士会会長 (本部委員会委員)
平野 淑子	長崎県歯科衛生士会専務理事 (推進委員会委員)

長崎県理学療法士協会	
塩塚 順	長崎県理学療法士協会会長 (本部委員会委員)
井手 伸二	長崎県理学療法士協会副会長 (推進委員会委員)

長崎県作業療法士会	
沖 英一	長崎県作業療法士会会長 (本部委員会委員)
黒木 一誠	長崎県作業療法士会理事 (推進委員会委員)

長崎県言語聴覚士会	
田上 由貴子	長崎県言語聴覚士会会長 (本部委員会委員)
戸澤 明美	長崎県言語聴覚士会副会長 (推進委員会委員)

長崎県栄養士会	
吉田 共栄	長崎県栄養士会会長 (本部委員会委員)
篠崎 彰子	長崎県栄養士会副会長 (推進委員会委員)

長崎県社会福祉士会	
毛利 宣子	長崎県社会福祉士会会長 (本部委員会委員)
中島 誠司	長崎県社会福祉士会監事 (推進委員会委員)

長崎県介護福祉士会	
有村 俊男	長崎県介護福祉士会会長 (本部委員会委員)
畑中 洋樹	長崎県介護福祉士会理事 (推進委員会委員)

九州大学	
吉田 素文	九州大学医学部教授 (評価委員会委員)
中村 誠司	九州大学歯学部教授 (評価委員会委員)

熊本大学	
丸山 徹	熊本大学薬学部教授 (評価委員会委員長)

神戸市看護大学	
鈴木 志津枝	神戸市看護大学長 (評価委員会委員)

長崎リハビリテーション病院	
栗原 正紀	長崎リハビリテーション病院理事長、日本リハビリテーション病院・施設協会会長 (評価委員会委員)

九州女子大学	
巴 美樹	九州女子大学家政学部教授 (評価委員会委員)

長崎ウエスレヤン大学	
森 泰一郎	長崎ウエスレヤン大学長 (評価委員会委員)

日本在宅薬学会	
狭間 研至	日本在宅薬学会理事長 (評価委員会委員)

平成26年3月現在



# 活動報告



# 大学教育プログラム

## 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 大学間単位互換科目の開発年次計画

科目名	コーディネート科目	学年	授業方法	区分	開講主担当	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
「在宅がん治療概論」	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「在宅ケア概論」	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「在宅緩和ケア概論」	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎県立大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「在宅医療概論」	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「地域包括ケア概論」	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学			[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。	
「在宅チーム医療早期体験学習」	○	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「地域包括ケア早期体験学習」	○	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「薬物治療実践学」	—	高学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「在宅看護論」	—	高学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「在宅がん治療特論」	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎大学		[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
「在宅緩和ケア特論」	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学			[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。	
「地域包括ケア特論」	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎国際大学			[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。	
「在宅がん医療・緩和ケア合同実習」	○	高学年	実習	合同実習 (実践力)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	3月6～8日に 小規模トライアル 実施	2月～3月に 大規模トライアル 実施予定	[NICEキャンパス長崎]科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。	

科目のモジュール化 ↓ 大学間単位互換プログラムの体系化

講義   実習   演習

## NICEキャンパス長崎について

「NICEキャンパス長崎」は、平成13年度からスタートした単位互換制度で、長崎県内全ての大学、短期大学及び高等専門学校が参加している。「NICE」の名称は、Nagasaki Intercollegiate (大学間) Credit (単位) Exchange (互換) の頭文字である。

単位互換制度は、各大学等が提供している授業科目(コーディネート科目、教養科目、専門科目)の中から、希望する科目を履修し、科目開設大学で単位を修得すれば所属大学の単位として認定される制度である。

### ※コーディネート科目

単位互換用に新たに開設する科目で、開講大学が設定した長崎らしいものや時事的なものをテーマに、他の大学の教員や、実業界で活躍されている方の協力を得て、オムニバス形式で講義を行う。



「NICEキャンパス長崎」  
2013年度学生募集ガイド



# 合同授業（基礎力）

## 「在宅がん治療概論（多職種協働による在宅がん治療を考える）」

### 概要

在宅がん治療の基礎知識、在宅がん治療に携わるそれぞれの職種の職能、各職能がどのように連携して在宅がん治療に取り組んでいるかについて学習する。講義はオムニバス形式で行う。

### 科目

開講期間：平成25年4月11日（木）～平成25年7月18日（木）

開講時間：18：30～20：00（90分）

開講場所：長崎大学薬学部2階 第2講義室

単 位：2単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生、一般社会人

### カリキュラム・講師

回	月日	内 容	講 師
1	4月11日	オリエンテーション・がん患者の在宅療養支援	中嶋 幹郎（長崎大学薬学部）
2	4月18日	がん看護における看護師の役割	中嶋 由紀子（長崎大学病院がん診療センター）
3	4月25日	がん診療における医師の役割	芦澤 和人（長崎大学病院がん診療センター）
4	5月 2日	がん治療における多職種協働	手嶋 無限（開生薬局）
5	5月 9日	在宅がん治療における医師の役割①	安武 亨（長崎大学医学部医学科）
6	5月16日	在宅がん治療における医師の役割②	山之内 孝彰（長崎大学医学部医学科）
7	5月23日	在宅がん治療における看護師の役割①	楠葉 洋子（長崎大学医学部保健学科）
8	5月30日	在宅がん治療における看護師の役割②	楠葉 洋子（長崎大学医学部保健学科）
9	6月 6日	在宅がん治療における薬剤師の役割①	中嶋 幹郎（長崎大学薬学部）
10	6月13日	在宅がん治療における薬剤師の役割②	江頭 かの子（長崎大学薬学部）
11	6月20日	在宅がん治療における歯科医師の役割①	齋藤 俊行（長崎大学歯学部）
12	6月27日	在宅がん治療における歯科医師の役割②	介田 圭（長崎大学歯学部）
13	7月 4日	在宅がん治療における栄養管理	駿河 和仁（長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科）
14	7月11日	在宅がん治療における地域リハビリテーション	松坂 誠應（長崎大学医学部保健学科）
15	7月18日	がん患者が望む多職種協働による在宅療養支援	黒岩 かをる（医療コミュニケーション薫陶塾）

### 履修生内訳

所 属		人 数
長崎大学	医学部（保健学科）	4名
	歯学部（歯学科）	1名
	薬学部（薬学科・薬科学科）	9名
合計		14名

### 聴講生内訳

所 属		人 数
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科		4名
合計		4名



### 受講生の感想（一部抜粋）

- 患者さんの多くは、症状が重くとも少しでも長い時間を自宅で、また最期も自宅で迎えたいと考えていると思うので、在宅療養支援は積極的に進めていくべきである。（薬学生）
- ケアは薬剤師と看護師で視点が違うので、やはり連携することで多方面からの治療が見えてくると思った。（看護学生）
- 栄養管理や最後まで食べることの大切さなどはいろいろ学んできたが、その評価の仕方や管理方法については今回初めてここまで詳しく学んだ。薬物治療を行っていても、栄養状態が悪ければQOLの向上には繋がらないと思うので、積極的に行っていくべきだと感じた。（薬学生）
- 今回履修して、専門職において他の職種のことを知るにより、患者さんにどのようにアプローチをしていくかのパターンが増え、且つより専門性の高い知識を得ようと意識するようになった。（歯学生）

## 「在宅ケア概論（多職種協働による在宅チームアプローチを考える）」

### 概要

在宅療養支援に携わるそれぞれの職種の職能について、また各職能がどのように連携して在宅チーム医療を行っているかが理解できるオムニバス形式の講義

### 科目

開講期間：平成25年10月3日（木）～平成26年1月27日（月）

開講時間：18：30～20：00（90分）

開講場所：長崎大学薬学部2階 第2講義室

単 位：2単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生、一般聴講生

### カリキュラム・講師

回	月日	内 容	講 師
1	10月3日	オリエンテーション・在宅療養支援概論	中嶋 幹郎（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
2	10月10日	在宅療養支援における介護支援専門員の役割	大町 いづみ（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
3	10月17日 <sup>※1</sup>	在宅療養支援における緩和ケア	奥平 定之（認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット） （奥平外科医院）
4	10月24日	在宅療養支援における地域医療連携（概論）	川崎 浩二（長崎大学病院地域医療連携センター）
5	10月31日	在宅療養支援における地域医療連携の実際 （看護師ならびに医療ソーシャルワーカーの立場から）	宮地 登代子（長崎大学病院地域医療連携センター） 向田 圭介（長崎大学病院地域医療連携センター）
6	11月7日	在宅療養支援における介護専門職の役割	堀部 和貴（長崎県介護福祉士会）
7	11月14日 <sup>※1</sup>	在宅療養支援における医師の役割	藤井 卓（認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット） （藤井外科医院）
8	11月21日	在宅療養支援における看護職の役割	中尾 八重子（長崎県立大学看護栄養学部）
9	11月28日	在宅療養支援における訪問リハビリの役割	本田 憲一（長崎リハビリテーション病院）
10	12月5日	在宅療養支援における薬剤師の役割	手嶋 無限（開生薬局）
11	12月12日	在宅療養支援における管理栄養士の役割	武藤 慶子（長崎県立大学看護栄養学部）
12	12月19日	在宅療養支援における歯科医師の役割	角町 正勝（角町歯科医院）
13	1月9日	在宅療養支援における歯科衛生士の役割	猪野 恵美（長崎県歯科衛生士会）
14	1月16日	在宅療養支援における認知症	河口 朝子（長崎県立大学看護栄養学部）
15	1月27日 <sup>※2</sup>	在宅療養支援における行政の役割	向原 茂明（杵崎市立杵岐市民病院）

※1：10月17日と11月14日は19:00～20:30（90分）

※2：1月27日のみ月曜日に開講

### 履修生内訳

所属		人数
長崎大学	歯学部（歯学科）	2名
	薬学部（薬学科・薬科学科）	15名
長崎県立大学	国際情報学部（情報メディア学科）	1名
合計		18名

### 聴講生内訳

所属		人数
長崎大学	医学部（医学科）	9名
長崎大学大学院	医歯薬学総合研究科	1名
合計		10名

### 一般社会人内訳

所属	人数
看護職	1名
一般	1名
合計	2名



### 受講生の感想（一部抜粋）

- 在宅療養支援に医師として積極的に参加する時に、現場で医師に求められることなど今回の講義で学んだこと以外にも目を向けていきたい。そして学んだことから視野を広げて学習に励みたい。（医学生）
- 地域医療において、各医療機関が連携する上で、すでに連携のための機関やシステムが存在しており、それが充実していることに驚いた。アセスメントでもフォーマットができており、共通認識ができるという点でかなり信頼のおけるものになっているのではないかと感じた。（薬学生）
- 病院と在宅医療の相違点から、本人にとって最良と思われる療養の方法を選ぶことが大切だと思った。（歯学生）
- 在宅療養支援における緩和ケアは、全ての疾患において必要であり、基盤になると考える。病院でも在宅でも同じ思いで患者さんやご家族と関わるといいと思う。（一般社会人）

## 「在宅緩和ケア概論」

### 概要

在宅緩和ケアの基礎知識、在宅緩和ケアに携わるそれぞれの職能、また各職種がどのようにして連携し在宅緩和ケアに取り組んでいるかについて学習する。講義はオムニバス形式で行う。

### 科目

開講期間：平成25年10月2日（水）～平成26年1月22日（水）

開講時間：18：00～19：30（90分）

開講場所：長崎県立大学シーボルト校中央棟M103・M104教室

単 位：2単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生、一般社会人

### カリキュラム・講師

回	月日	内 容	講 師
1	10月2日	オリエンテーション・在宅緩和ケアの現状と課題	吉原 律子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
2	10月9日	在宅緩和ケアの基礎知識	吉原 律子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
3	10月16日	ホスピスケア	益富 美津代（聖フランシスコ病院ホスピス病棟）
4	10月23日	在宅緩和ケアとがん診療	山之内 孝彰（長崎大学医学部医学科）
5	10月30日	在宅医療における情報通信の活用	前村 葉子（長崎県立大学国際情報学部）
6	11月6日	在宅緩和ケアにおける医師の役割	中尾 勤一郎（認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット） （ホーム・ホスピス中尾クリニック）
7	11月13日	在宅緩和ケアにおける看護師の役割	吉原 律子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
8	11月20日	在宅緩和ケアにおける薬剤師の役割	手嶋 無限（開生薬局）
9	11月27日	在宅緩和ケアにおける管理栄養士の役割	武藤 慶子（長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科）
10	12月4日	在宅緩和ケアにおける地域医療連携（概論）	川崎 浩二（長崎大学病院地域医療連携センター）
11	12月11日	在宅緩和ケアにおける地域医療連携の実際 （看護師と医療ソーシャルワーカーの立場から）	宮地 登代子（長崎大学病院地域医療連携センター） 向田 圭介（長崎大学病院地域医療連携センター）
12	12月20日 <sup>※</sup>	在宅緩和ケアにおける行政の役割	向原 茂明（壱岐市立壱岐市民病院）
13	1月8日	在宅緩和ケアにおける歯科医師の役割	介田 圭（長崎大学歯学部）
14	1月15日	在宅緩和ケアで用いられる薬剤	手嶋 無限（開生薬局）
15	1月22日	在宅緩和ケアにおける死生観	内村 公義 （NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ）

※12月20日のみ金曜日開講

### 履修生内訳

所 属		人 数
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）	32名
長崎大学	歯学部（歯学科）	1名
合計		33名

### 聴講生内訳

所 属		人 数
長崎県立大学	看護栄養学部（栄養健康学科）	2名
合計		2名

### 一般社会人内訳

所 属	人 数	所 属	人 数
医師	3名	ヘルパー	3名
看護師（長崎県立大学教員含む）	6名	病院事務	1名
理学療法士	1名	グリーンケアアドバイザー	1名
訪問介護管理者	1名	一般	9名
ケアマネジャー	5名		
合計			30名



### 受講生の感想（一部抜粋）

- 普段考えることのない死について深く考えさせられるお話でした。死は誰にでも必ず訪れるものであり、いつ自分や自分の家族におこるかわからないからこそ、自分のことも家族や周りの人のことも大切にしたいと思いました。（栄養学生）
- 自宅で過ごしたいという気持ちを抱くことはとても良くわかる。特に病で苦しむ時に身近な人と同じ日常生活を送るといことは患者の人生にとってとても有益な時間になると思う。より多くの人に緩和ケアを知ってもらう機会を作っていくことが大切だと思った。（歯学生）
- 在宅緩和ケアとその人らしい生活の中で、患者と看護師、家族の間に信頼関係が生まれます。患者は家では自由であり「生きている」実感を味わうことができます。そのような生活を患者さんに送ってほしいし、自分がその立場でもそうしたいです。しかし、そのためには看護師の正しい判断や責任が重要です。難しいことですが、よい医療を患者に提供したいと思いました。（看護学生）

## 「在宅医療概論」

### 概要

在宅医療に携わる各職種また各職能が連携し、患者に対してどのようなアプローチを行うかについて学習する。講義はオムニバス形式で行う。

### 科目

開講期間：平成25年9月28日（土）～平成26年1月11日（土）

開講時間：9：00～10：30、10：40～12：10（各90分）

開講場所：長崎国際大学3303・6103・6104教室

単 位：2単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生、一般社会人

### カリキュラム・講師

回	月日	内 容	講 師
1	9月28日	在宅医療にかかわる多くの専門職と専門職連携の重要性	岩下 淳二（長崎国際大学薬学部）
2	10月5日	在宅医療における行政のサポート	下平 和子（佐世保市保健福祉部長寿社会課）
3	10月5日	在宅医療におけるケアマネージメントとソーシャルワーク	山本 主税（長崎国際大学人間社会学部）
4	10月12日	在宅医療におけるヘルスカウンセリング	古賀 義（長崎国際大学人間社会学部）
5	10月12日	在宅医療における薬局薬剤師の役割	徳永 修（あなず薬局）
6	10月19日	在宅医療における歯科医師の役割	畳屋 文人（佐世保市歯科医師会）
7	10月19日	在宅医療における医師の役割	矢野 捷介（長崎国際大学健康管理学部）
8	11月16日	在宅医療における介護福祉士・社会福祉士の役割	山崎 久子（長崎国際大学人間社会学部）
9	11月16日	在宅医療における薬剤師の役割	七嶋 和孝（ななしま薬局）
10	12月7日	在宅医療における看護師の役割	新川 哲子（長崎大学医学部保健学科）
11	12月7日	在宅医療における管理栄養士の役割	林 俊介（長崎国際大学健康管理学部）
12	12月21日	在宅医療における病院薬剤師の役割	川崎 浩一 （国家公務員共済組合連合会佐世保共済病院）
13	12月21日	在宅医療における健康サポート	熊谷 賢哉（長崎国際大学人間社会学部）
14	1月11日	在宅医療における調剤と薬の知識	仮屋 博子（長崎国際大学薬学部）
15	1月11日	在宅医療における緩和ケアの知識	山田 勝士（長崎国際大学薬学部）

### 履修生内訳

所 属		人 数
長崎国際大学	薬学部（薬学科）	87名
	健康管理学部（健康栄養学科）	1名
	人間社会学部（社会福祉学科・国際観光学科）	7名
合計		95名

### 一般社会人内訳

所 属	人 数
医師	2名
看護職	1名
ケアマネージャー	2名
合計	5名



### 受講生の感想（一部抜粋）

- 在宅医療に関係する職種間の連携、また病院や施設との連携もしっかり深め、患者さんを全体で支えていけるような薬剤師になりたいと思った。（薬学生）
- 一人の介護に際して、こんなに多くの専門職の方が関わっていると知り、やはり連携はとても大切であると感じた。（栄養学生）
- QOL向上のためには、生活を支える介護と健康を支える医療が連携し、その患者さんに合った方法をその都度考えていく必要があると思う。（薬学生）
- 在宅医療は高齢者だけでなく、病気のため余命が短い患者さんとも関わっていくことを知り、中途半端な気持ちではできないと思った。患者さんの残された時間を少しでも良いものにできるよう、全力を尽くせるようなソーシャルワーカーになりたいと思った。（社会福祉学生）



# 合同実習（動機付け）

## 「在宅チーム医療早期体験学習」

### 概要

大学・学部間の垣根を越えて、地域の訪問看護ステーション、薬局等の施設担当者とともに在宅療養者宅への同行を通し、在宅療養支援の実際を知ること、多職種協働によるチームアプローチの重要性を考える。

### 一般目標

在宅療養者が必要とするケアに対して、地域の保健・医療・福祉チームがどのように連携し療養支援を行っているかを理解する。

### 行動目標

- ①在宅療養者およびその家族が必要としている様々なケアの内容について述べる（知識）
- ②在宅療養者を中心にしてどのような職種が関わっているかについて述べる（知識）
- ③地域における薬局・訪問看護ステーションの目的やチーム医療における役割について述べる（知識）
- ④学外で学ぶ上で、学生としての適切な態度・マナーに配慮する（態度）
- ⑤グループで学習成果をまとめ、学習プロセスを共有し討議する（態度）

### 科目

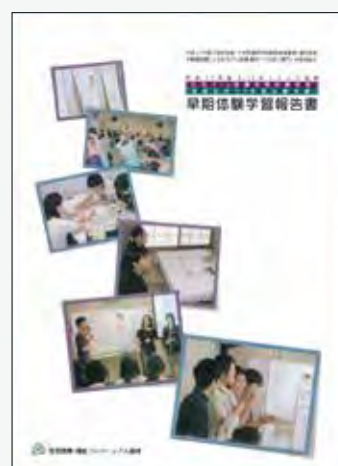
開講期間：平成25年8月29日（木）～8月30日（金）

1泊2日の宿泊型

開講場所：長崎大学薬学部、訪問看護ステーション、薬局

単 位：1単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している1年次以上の学生



平成25年度「NICEキャンパス長崎」  
早期体験学習報告書

### 日程

8月29日（木）	8月30日（金）
8:30～ 合同オリエンテーション	6:30～ 起床
10:00～ 施設での体験学習 （訪問看護ステーション、薬局）	7:00～ 朝食、整理整頓など
17:00～ 宿泊施設へ移動 （宿泊先：長崎市日吉青年の家）	8:20～ 長崎大学薬学部へ移動
18:00～ 夕食	9:00～ グループワーク、ポスター作成
19:00～ セミナー	12:00～ 昼食
21:00～ グループワーク	13:00～ 学習報告会発表準備
22:30 就寝	13:30～ 学習報告会
	16:15～ 写真撮影
	16:30 解散

## 参加学生内訳

所 属		人 数
長崎大学	医学部（医学科、保健学科）	5名
	歯学部（歯学科）	3名
	薬学部（薬学科）	2名
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科、栄養健康学科）	17名
長崎国際大学	薬学部（薬学科）	3名
	健康管理学部（健康栄養学科）	2名
	人間社会学部（社会福祉学科）	4名
長崎国際大学大学院	健康管理学研究科（健康管理学専攻）	1名
活水女子大学	看護学部（看護学科）	2名
合計		39名



## 受講生の感想（一部抜粋・編集）

- 今回の学習で、在宅療養者とその家族が必要としているものは医療行為だけでなく、自宅で安心した生活を送るための多面的な支えであることを学んだ。訪問看護師との信頼関係もその支えのひとつであったと思う。また、在宅医療の中で、医師は医療行為の方針を決める責任ある役割を担っていることも学んだ。（医学生）
- 今回様々な学科の方と意見を交換できたのはとても良い体験になったので、これからも看護の枠にとらわれずに、いろいろな意見を聞いて、視野を広げていきたいと感じた。（保健学生）
- 訪問看護ステーションの所長さんは、訪問看護をする時に最も大切なことは「人と人とのつながり」で、目の前の患者さんは寝たきりかもしれないけど、人生の大先輩で尊敬の念や敬意を払うことを忘れてはいけないと仰っており、大切な心の持ち方を教えていただいた。また、患者さんが安心して安全に生活するために多職種との連携が必要であると学び、これは在宅ケアで最も大切なことだと感じた。（栄養学生）
- 訪問看護師の仕事を実際に見学し、看護師さんは話し方も自然で会話の中で体の具合や食べた物を聴いていて、楽しくはずむような雰囲気が印象的だった。初めて知ることばかりで、多職種と連携をとる上では、社会福祉や介護の知識や技術のみでは対応できないことが実感できた。（社会福祉学生）
- 病院が体の治療を焦点としているならば、在宅医療での焦点は心のケアということもできる。患者の状態や薬の管理をしつつ、これからの生活を向上させるため、患者・家族と意見交換をし実現に向けて力を入れ、その助けとなるのが在宅医療における薬剤師の役割だと言えるだろう。（薬学生）

## 「地域包括ケア早期体験学習」

### 目的

地域の在宅医療支援施設の担当者とともに在宅療養者宅への同行や地域包括支援センターの実務を学ぶことを通し、在宅療養支援の実際を知ることで、多職種協働によるチームアプローチの重要性を考える。

### 一般目標

高齢者をはじめとする地域住民の保健・医療・福祉・介護ニーズに対して、地域包括支援センターが果たしている役割や、地域の関係機関と専門職がどのように連携し支援を行っているのかを理解する。

### 行動目標

- ①地域包括支援センターの4つの機能（総合相談、権利擁護、介護予防マネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント）とその地域の特性について理解する。（知識）
- ②地域の高齢者を中心に、どのような機関や専門職、非専門職が関わっているかについて述べる（知識）
- ③学外で学ぶ上で、学生としての適切な態度・マナーに配慮する（態度）
- ④グループで学習成果をまとめ、学習プロセスを共有し討議する（態度）

### 科目

開講期間：平成25年9月18日（水）～平成25年9月19日（木）

開講場所：長崎大学薬学部、長崎市内の地域包括支援センター

単 位：1単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している1年次以上の学生



平成25年度「NICEキャンパス長崎」  
早期体験学習報告書

### 日程

9月18日（水）	9月19日（木）
8:30～ 合同オリエンテーション	8:30～ 学生受付
11:30～ 昼食(移動時間含む)	9:00～ グループワーク、ポスター作成
13:00～ 施設での体験学習 (地域包括支援センター)	12:00～ 長崎大学薬学部へ移動
17:00～ 長崎大学薬学部で点呼、解散	13:00～ 学習報告会発表準備
	14:00～ 学習報告会
	15:30～ 写真撮影
	16:30 解散

## 参加学生内訳

所 属		人 数
長崎大学	医学部（保健学科）	1名
	歯学部（歯学科）	4名
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科、栄養健康学科）	12名
長崎国際大学	薬学部（薬学科）	6名
	人間社会学部（社会福祉学科）	4名
活水女子大学	看護学部（看護学科）	2名
合計		29名



## 受講生の感想（一部抜粋・編集）

- 居宅訪問では、実際に坂を歩いて上り、地域によっては外出がとても大変であることを身をもって感じた。地域包括支援センターの方が歩いていると手を振ったりしてくれる地域の方もいて、地域に浸透していると感じた。しかし、その中に若い世代はいなかったのも私たちの代ももっと頑張らなければならないと感じた。オープンカンファレンスでは職種によって考え方が少し異なるということを感じたため、多職種でディスカッションし、理解を深めることのできる場は大切だと思った。（看護学生）
- 地域包括支援センター、地域連携室、社会福祉協議会の役割について自分の中で区別できずにいたので、違いを教えてくださいました。地域包括支援センターは様々な相談の窓口でもあり、それに対する専門的側面からのアプローチだけでなく、地域を支援するサポーターでもあることを知ることができた。相談者と必要な機関やサービスを結び付ける仲介役を担っているのも、行政・医療機関社会福祉協議会・地域のキーパーソンなど横との関わりも大切で、多職種連携の一員として関わる上で、医療的な視点と福祉的な視点の両方を持っていないといけないということを知ることができた。（薬学生）
- 2つのグループが合体しグループワークを行ったが、意思疎通やコミュニケーションはすんなりととれた。それぞれの主張を尊重し、どれだけ相手の考えを自分の考えとすり合わせるができるか、実際にチームとして治療に取り組んでいくときの大変さを改めて感じたグループワークだった。（歯学生）
- 実習に参加するまで地域包括支援センターについてほとんど知識がなかったが、実際の現場を見ることで詳しく知ることができた。地域の現状を知り、対応策などを考えて地域の人々と密接に関わる仕事をしているのだと感じた。地域包括支援センターが活発に機能することで高齢者の生活は守られ、介護保険などの負担も減少するのだと改めて学ぶことができた。（栄養学生）

# 合同授業（応用力）

## 「薬物治療実践学」

### 概要

超高齢社会における在宅療養を支援することは重要である。そのため、在宅療養支援に携わるそれぞれの専門職の職能を理解して行動できる次世代の医療職（薬剤師）を育成する。

### 授業のねらい

薬学生に対しては「薬局薬剤師の職能に関するアドバンス教育」を行う。

### 授業方法(学習指導法)

スライドを使った講義と受講者による小グループ討論を行う。

### 到達目標

在宅療養支援に携わるそれぞれの専門職の職能を理解し、地域医療の中で薬局薬剤師が取り組む共同薬物治療管理（CDTM）の内容について説明できる。地域医療の中での医療・介護・福祉の専門職間の連携（多職種協働）の重要性と薬局薬剤師、看護師、医師等のそれぞれの専門職が果たすべき役割について説明できる。

### 科目

開講期間：平成25年4月15日（月）～平成25年4月22日（月）

開講場所：長崎大学

単 位：1単位（必修科目）

対 象：長崎大学薬学部薬学科6年次の学生

### 授業計画

回	内容	
1	これからの地域薬局のあり方と薬局薬剤師の目指す薬物治療	薬剤師の大学教員による講義
2	薬局薬剤師が支援するセルフメディケーション	薬局薬剤師による講義
3	在宅ケアにおける看護職との連携	看護職の大学教員による講義
4	高齢者の在宅ケア	医師の大学教員による講義
5	薬局薬剤師が始めるフィジカルアセスメント	薬局薬剤師による講義
6	在宅ケアにおけるチーム医療Ⅰ	グループでの討論
7	在宅ケアにおけるチーム医療Ⅱ	グループでの討論
8	総合演習	全体での討論
評価	授業に対する積極的な態度…50% レポート…50%	
備考	毎回の授業内容を整理・記録して、その都度復習を十分に行うこと 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」及び「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」が提供する授業として「NICEキャンパス長崎」へ登録している科目	

※長崎大学薬学部 平成25年度シラバスより抜粋

## 「在宅看護論」

### 概要

疾病や障害をもつ人々が地域で生活する意義と家族を1つの単位としてとらえケアしていく意義を理解する。また、在宅看護の役割と課題を理解し、在宅看護の成立要件や地域社会における在宅看護の必要性和在宅看護を支える諸制度について学習する。

### 到達目標

1. 在宅看護の提供の場と特徴について説明することができる。
2. 対象の健康問題について把握することができる。
3. 在宅における個々の療養者の状況に応じた看護計画の立案ができる。
4. 必要な看護支援技術の展開を考えることができる。
5. 療養者の健康問題解決にあたって、必要な社会資源を把握し、保健医療福祉の連携のあり方について考えることができる。

### 科目

開講期間：平成25年10月2日（水）～平成26年1月28日（火）

開講場所：長崎県立大学

単 位：2単位（専門必修科目）

対 象：長崎県立大学看護栄養学部看護学科2年次の学生

### 授業計画

回	内 容	
1	在宅ケアと在宅看護	在宅ケア・在宅看護・訪問看護の定義や関連について
2	在宅看護の歴史と現状	日本の社会的背景と在宅看護の関連について
3	在宅看護の倫理と基本理念	療養者や家族を中心とした医療・看護について
4	在宅療養者と家族	在宅療養の成立条件と家族について
5	在宅看護の展開（看護過程）①	事例を通し在宅療養者とその家族への支援を考え、看護過程の展開方法を学ぶ（グループワーク）
6	在宅看護を提供する場と特徴	訪問看護を行う場（施設・期間）とそれぞれの特徴について
7	在宅看護の展開（看護過程）②	事例を通し在宅療養者とその家族への支援を考え、看護過程の展開方法を学ぶ（グループワーク）
8	在宅療養を支える看護	訪問看護ステーションについて
9	在宅看護の展開（看護過程）③	事例を通し在宅療養者とその家族への支援を考え、看護過程の展開方法を学ぶ（グループワーク）
10	在宅ケアシステム	事例をもとに関係者や関連機関について
11	在宅ケアの連携とマネジメント	連携とマネジメントの意義と実際
12	在宅ケアを支える制度と社会資源①	対象別（高齢者・障害者・子どもなど）による制度と社会資源
13	在宅ケアを支える制度と社会資源②	在宅療養者の権利擁護
14	在宅看護の展開（看護過程）発表①	グループワークで行った看護過程の発表
15	在宅看護の展開（看護過程）発表②	グループワークで行った看護過程の発表
評価	定期試験…70%	レポート…20% 出席状況…10%

※長崎県立大学看護栄養学部 平成25年度シラバスより抜粋

## 「在宅がん治療特論」

### 概要

在宅移行予定のがん患者に対するケアの方針を、多職種からなるチームで構築する。最終発表は模擬カンファレンスの形式で行う。

### 一般目標

将来のチーム医療実践に向けて、患者および家族の情報を共有し、ケアの方針をたてる過程および模擬カンファレンスを経験することにより、各自の専門性を発揮しつつ、医療チームとして質の高い医療を提示する能力を習得する。

### 科目

開講期間：平成25年10月26日（土）～平成25年11月30日（土）

開講場所：長崎大学薬学部、長崎国際大学薬学部

単 位：2単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している3年次以上の学生

### 日程

開講日・開講場所	内 容
1回目(10月26日) 長崎国際大学	9:00～ オリエンテーション、自己紹介 9:30～ レクチャー ①在宅がん治療 ②介護保険制度 ③退院支援と退院調整 11:00～ 事例1の提示と教員による模擬カンファレンス(退院支援) 13:00～ 教員による模擬カンファレンス(退院前カンファレンス) 13:45～ 事例2の提示 患者全体像の把握、学習項目の抽出 16:00～ 解散
2回目(11月9日) 長崎大学	9:00～ オリエンテーション、自己紹介 9:30～ レクチャー ①在宅がん治療 ②介護保険制度 ③退院支援と退院調整 11:00～ 事例1の提示と教員による模擬カンファレンス(退院支援) 13:00～ 教員による模擬カンファレンス(退院前カンファレンス) 13:45～ 事例2の提示 患者全体像の把握、学習項目の抽出 16:00～ 解散
3回目(11月16日) 長崎国際大学	9:00～ グループ内で自己学習の成果報告、発表準備 13:00～ 模擬カンファレンスとパワーポイントによる発表、発表に対する質問、フィードバック
4回目(11月30日) 長崎大学	9:00～ グループ内で自己学習の成果報告、発表準備 13:00～ 模擬カンファレンスとパワーポイントによる発表、発表に対する質問、フィードバック

### 履修生内訳

所 属		人 数
長崎大学	医学部（保健学科）	1名
	薬学部（薬学科）	6名
長崎国際大学	薬学部（薬学科）	5名
	人間社会学部（社会福祉学科）	2名
合計		14名

### 聴講生内訳

所 属	人 数
長崎大学医学部（保健学科）	2名
長崎大学薬学部（薬学科）	1名
長崎国際大学大学院人間社会学研究科	2名
合計	5名



### 受講生の感想（一部抜粋・編集）

- それぞれの職種により患者さんの見方も変わればアドバイスすることも異なるという、一見当たり前聞こえることでも実際にその立場で考えることでより実感し、医療チームが一丸となって在宅での療養を支えているということに気づくことができた。これから医療現場で働く上で、薬剤師だけではなく他の医療スタッフがどんな役割を持つのか知っておかなければならないと思う。様々な職種に触れることができた今だからこそ、それぞれの持つ役割についてさらに知識を深めたいと思う。（薬学生）
- カンファレンスというものに参加するのは初めてだった。近年、退院カンファレンスに保険点数が付けられることにより、他職種とのチーム連携が不可欠になるという医療の流れの中で、学生のうちに実際に体験できる立場に恵まれ幸運だと考える。（看護学生）
- 福祉と医療が連携して取り組まなければいけない事例において、実際に各職種の役割を割り当てられ、担当した患者さんをどのような視点で見て支援していくべきなのかということに迷いがあった。今回体験したことをバネに、どのような場面でも患者さんや利用者さんを総合的な面から捉え、情報の分析や課題をあきらかにしていけるような支援者になれるよう、今後の課題に取り組んでいきたい。（社会福祉学生）



# 合同実習（実践力）

## 「在宅がん医療・緩和ケア合同実習トライアル」

### 目的

本実習は、医療・保健・福祉等の学科を専攻している学生が、自己の目指す専門性を伸ばすとともに、がん患者に対する病院から在宅へ切れ目のない療養支援や在宅緩和ケアにおけるチームアプローチについて学ぶことを目的とする。そのため、長崎大学病院や在宅療養支援(歯科)診療所などでの実習を行う。また、他大学の他学科生とのグループによる共同作業を通して、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性・協調性を修得することがねらいである。

### 一般目標

病院から在宅へ切れ目のない支援や在宅がん医療・緩和ケアにおける多職種協働の実際や重要性について理解する。

### 行動目標

- ①在宅療養者およびその家族が必要としている在宅がん医療・緩和ケアの内容について述べる（知識）
- ②病院から在宅への切れ目のない療養支援の内容について述べる（知識）
- ③在宅がん医療・緩和ケアにおけるチームアプローチについて述べる（知識）
- ④学外で学ぶ上で、学生としての適切な態度・マナーに配慮する（態度）
- ⑤グループで学習成果をまとめ、全員で討議することで、学びを発展させる（態度）

### 科目

開講期間：平成26年3月12日（水）～平成26年3月14日（金）

開講場所：長崎大学病院、在宅療養支援（歯科）診療所、長崎大学薬学部、長崎国際大学薬学部

対象：長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学にて医学・歯学・看護学・理学療法学・作業療法学・栄養学・福祉学を専攻する高学年次（原則）の学生

### 日程

実習日・実習場所	内容
1日目(3月12日) 長崎大学病院	9:00～ オリエンテーション 10:00～ セミナー 13:00～ 実習(診療科、診療部門、チームなど) 16:00～ オープンカンファへ参加(地域医療連携センター) 17:00～ 解散
2日目(3月13日) 長崎地区の在宅療養支援 (歯科)診療所等	9:00～ 実習 ・在宅療養支援診療所 ・在宅療養支援歯科診療所 17:00～ 長崎大学薬学部にて解散
3日目(3月14日) 長崎国際大学	10:00～ グループワーク 13:00～ 発表準備 14:00～ 学習報告会

### 参加学生内訳

所属		人数
長崎大学	医学部(医学科、保健学科)	6名
	歯学部(歯学科)	3名
	薬学部(薬学科)	6名
長崎国際大学	薬学部薬学科	2名
	健康管理学部(健康栄養学科)	1名
	人間社会学部(社会福祉学科)	3名
合計		21名



# 県民フォーラム

## 第1回長崎県民フォーラム

テーマ「考えよう！これからの在宅がん医療を～痛みの緩和と生活のうるおい～」

日時：平成25年9月28日（土） 13：00～15：45

会場：アルカスSASEBO

参加総数：108名

### 内 容

開会あいさつ 長崎国際大学薬学部教授  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎本部委員会副委員長 榊原 隆三

事業計画紹介 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の目指す取組」  
長崎国際大学薬学部准教授  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎専任教育職員 岩下 淳二

講演① 「緩和ケア～穏やかな時間を取り戻すために～」  
長崎大学病院看護部緩和ケアチーム専従看護師 池田 津奈子

講演② 「緩和医療と薬～上手に使って暮らしをまもろう～」  
長崎大学病院薬剤部麻薬管理室長・緩和ケアチーム 龍 恵美

講演③ 「旅を諦める必要はありません。あなたの人生に、旅の喜びを。」  
旅のよろこび株式会社代表取締役 宮川 和夫

閉会あいさつ 長崎国際大学薬学部准教授  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎専任教育職員 岩下 淳二



## 第2回長崎県民フォーラム

テーマ「考えよう！これからの在宅がん医療を～私がうけたい医療、私がおのぞむ生き方～」

日時：平成25年12月7日（土）14：00～16：00  
会場：長崎県立大学 シーボルト校大講義室（本部棟2階）  
参加総数：287名

### 内 容

開会あいさつ 長崎県立大学学長 太田 博道

事業計画紹介 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」取組紹介  
長崎県立大学看護栄養学部看護学科特任准教授  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎専任教育職員 吉原 律子

講 演 「私がうけたい医療、私がおのぞむ生き方」  
医療法人社団裕和会 長尾クリニック院長 長尾 和宏

### メッセージ（第2回長崎県民フォーラム チラシより抜粋）

「がんになったら、最後まで自宅で過ごせない!？」そう思っている方がおられるかもしれません。決してそんなことはありません。在宅ホスピスという選択肢があります。近著『がんの花道』『抗がん剤・10のやめどき』に書いたメッセージを、分かり易くお伝えいたします。

閉会あいさつ 長崎県立大学副学長 正木 基文



# 第3回長崎県民フォーラム

## テーマ「考えよう！これからの在宅がん医療を」

日 時：平成26年2月22日（土）14：00～16：30  
会 場：長崎大学 文教スカイホール（グローバル教育・学生支援棟4階）  
参加総数：133名

### 内 容

開会あいさつ 長崎大学理事・副学長  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎本部委員会委員長 調 漸

事業報告 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の目指す取組」  
テーマ①これまでの成果と今後の展望  
テーマ②参加学生の声～多職種連携教育に参加して～  
長崎大学理事・副学長  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎本部委員会委員長 調 漸  
長崎大学薬学部准教授  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎専任教育職員 江頭 かの子  
長崎大学医学部医学科1年 阿部 由紀子  
長崎大学歯学部歯学科1年 高濱 達生  
長崎大学薬学部薬学科2年 白石 亜希  
活水女子大学看護学部看護学科3年 田邊 和

特別講演 「外見ケアで、自分らしくいきいきと！」  
テーマ①がんによる外見の変化と心  
テーマ②あなたにもできるかんたん外見ケア  
国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター  
野澤 桂子（同センター長／臨床心理士）  
藤間 勝子（臨床心理士）

閉会あいさつ 長崎大学薬学部教授  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎推進委員会委員長 中嶋 幹郎



# 教育セミナー

## 教育セミナー

日 時：平成26年3月4日（火） 13：00～15：00  
会 場：一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院  
参加総数：6名（在宅医療・福祉コンソーシアム長崎専任教育職員）

### 内 容

プログラム・講師 「リハビリテーションの基本的な考えと実際について」

長崎リハビリテーション病院・理事長

日本リハビリテーション病院・施設協会会長 栗原 正紀

「回復期リハビリテーション病棟のチーム医療の状況について」

長崎リハビリテーション病院視察（病棟・リハビリテーション室等）

長崎リハビリテーション病院理事 臨床部部长・教育研修部部长 井手 伸二

「まとめ」

長崎リハビリテーション病院理事 臨床部部长・教育研修部部长 井手 伸二



# 本部委員会会議

## 第1回本部委員会

日時：平成25年5月23日（木） 15：15～16：45  
場所：長崎大学第2会議室（事務局3階）  
参加総数：23名

### 1. 報告事項

- 1-1 各種委員会の委員変更について
- 1-2 平成25年度の推進計画について
  - ・平成25年度「NICEキャンパス長崎」登録科目について

### 2. 協議事項

- 2-1 推進委員会の新委員について
- 2-2 評価委員会（第1回中間評価）の開催日程について

- 2-3 第2回本部委員会の開催日程について  
3大学主催の各フォーラムについて

### 3. その他

- 3-1 組織体制の変更について  
在宅医療・がん医療・緩和ケア教育の学習到達目標に関するアンケート調査研究（平成24年度事業）について

## 第2回本部委員会

日時：平成26年3月4日（火） 13：00～14：30  
場所：長崎大学第2会議室（事務局3階）  
参加総数：19名

### 1. 報告事項

- 1-1 平成25年度事業について
  - ・「NICEキャンパス長崎」開講科目について
  - ・長崎県民フォーラムについて
  - ・在宅医療・がん医療・緩和ケア教育の学習到達目標に関するアンケート調査研究について
  - ・「大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム」（文部科学省主催）について
  - ・教育セミナーについて
- 1-2 評価委員会の開催について
- 1-3 平成25年度年間活動報告書について

- 1-4 平成26年度大学改革推進等補助金調書の提出について

### 2. 協議事項

- 2-1 平成26年度事業計画について
  - ・「NICEキャンパス長崎」開講科目について
  - ・長崎県民フォーラムについて
- 2-2 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎規程の改訂について
- 2-3 平成26年度本部委員会開催スケジュールについて

### 3. その他



# 推進委員会会議

## 第1回推進委員会

日時：平成25年5月16日（木） 15：00～16：30

場所：長崎大学第1会議室（事務局3階）

参加総数：28名

### 1. 報告事項

- 1-1 各種委員会の委員変更について
- 1-2 平成25年度事業の推進計画について
  - ・平成25年度「NICEキャンパス長崎」登録科目について

### 2. 協議事項

- 2-1 推進委員会の新委員について
- 2-2 評価委員会（第1回中間評価）の開催について
- 2-3 第2回推進委員会開催スケジュールについて
- 2-4 長崎県民フォーラム及び長崎がんフォーラムについて

### 3. その他

- 3-1 組織体制の変更について
- 3-2 在宅医療・がん医療・緩和ケア教育の学生目標達成に関するアンケート調査研究（平成24年度事業）について

## 第2回推進委員会

日時：平成26年2月12日（水） 16：00～17：30

場所：長崎大学第1会議室（事務局3階）

参加総数：24名

### 1. 報告事項

- 1-1 平成25年度事業について
  - ・「NICEキャンパス長崎」開講科目について
  - ・長崎県民フォーラムについて
  - ・在宅医療・がん医療・緩和ケア教育の学習到達目標に関するアンケート調査研究について
  - ・「大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム」（文部科学省主催）について
  - ・教育セミナーについて

- 1-2 評価委員会の開催について

### 2. 協議事項

- 2-1 平成25年度年間活動報告書について
- 2-2 平成26年度事業計画について
  - ・補助金調書の作成について
  - ・「NICEキャンパス長崎」開講科目について
  - ・長崎県民フォーラムについて
- 2-3 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎規程の改訂について
- 2-4 平成26年度推進委員会開催スケジュールについて

### 3. その他





# 運営委員会会議

## 第1回運営委員会

日時：平成25年4月23日（火） 14：00～15：00  
場所：長崎大学第1会議室（事務局3階）  
参加総数：11名

### 1. 報告事項

- 1-1 各種委員会の委員変更について
- 1-2 評価委員会の委員について
- 1-3 組織体制の変更について

### 2. 協議事項

- 2-1 平成25年度事業計画の推進について
  - ・平成25年度「NICEキャンパス長崎」登録科目について
  - ・長崎県民フォーラム・長崎がんフォーラムについて
  - ・教育セミナーについて
- 2-2 平成25年度評価委員会の日程について
- 2-3 平成25年度運営委員会の開催スケジュールについて

## 第2回運営委員会

日時：平成25年5月31日（金） 16：00～17：30  
場所：長崎大学第2会議室（事務局3階）  
参加総数：13名

### 1. 報告事項

- 1-1 第1回本部委員会の議事内容について

### 2. 協議事項

- 2-1 平成25年度事業計画の推進について
  - ・「在宅チーム医療早期体験学習」、「地域包括ケア早期体験学習」について
  - ・長崎県民フォーラムについて
  - ・教育セミナーについて

### 3. その他

- 3-1 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎規程」の改訂について

## 第3回運営委員会

日時：平成25年8月5日（月） 14：00～15：30  
場所：長崎大学第1会議室（事務局3階）  
参加総数：14名

### 1. 報告事項

- 1-1 評価委員会（第1回中間評価）の開催日程について
- 1-2 組織体制の変更について

### 2. 協議事項

- 2-1 平成25年度事業計画の推進について
  - ・「在宅チーム医療早期体験学習」について
  - ・「地域包括ケア早期体験学習」について
  - ・「在宅がん治療特論」について

- ・「在宅ケア概論」について
- ・「在宅緩和ケア概論」について
- ・「在宅医療概論」について
- ・長崎県民フォーラムについて
- ・教育セミナーについて

### 3. その他

- 3-1 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎規定」の改訂について
- 3-2 「在宅がん医療・緩和ケア合同実習（大規模トライアル）」について
- 3-3 本部・推進・運営委員会の議事録作成について

## 第4回運営委員会

日 時：平成25年10月17日（木） 16：00～17：30  
場 所：長崎大学第1会議室（事務局3階）  
参加総数：13名

### 1. 報告事項

- 1-1 前期開講科目単位認定者について
- 1-2 後期開講科目履修状況について
- 1-3 第1回・第2回長崎県民フォーラムについて

### 2. 協議事項

- 2-1 平成25年度事業計画（未実施）について
  - ・第3回長崎県民フォーラム
  - ・在宅がん医療・緩和ケア合同実習（大規模トライアル）
  - ・教育セミナー
- 2-2 平成26年度「NICEキャンパス長崎」科目登録について

### 3. その他

- 3-1 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎規程」の改訂について

## 第5回運営委員会

日 時：平成25年12月16日（月） 17：00～18：00  
場 所：長崎大学第3会議室（事務局2階）  
参加総数：14名

### 1. 報告事項

- 1-1 専任教員作業部会について
- 1-2 後期開講科目履修状況について
- 1-3 第2回・第3回長崎県民フォーラムについて
- 1-4 早期体験学習報告書について
- 1-5 評価委員会委員長について

### 2. 協議事項

- 2-1 平成25年度事業計画（未実施）について
  - ・「在宅がん医療・緩和ケア合同実習（大規模トライアル）」
  - ・教育セミナーなど
- 2-2 平成26年度「NICEキャンパス長崎」科目登録について

### 3. その他

- 3-1 「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎規定」の改訂について

## 第6回運営委員会

日 時：平成26年3月18日（火）  
参加総数：19名  
書面会議

### 1. 報告事項

- 1-1 第2回推進委員会の議事について
- 1-2 第2回本部委員会の議事について
- 1-3 専任教員作業部会について

### 2. 協議事項

- 2-1 平成26年度事業計画具体案について
- 2-2 平成26年度運営委員会開催スケジュールについて



# 学会等参加

## 平成24年度

### 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2013

日 時：平成25年3月16日（土）～17日（日）  
会 場：タワーホール船堀（東京都江戸川区）  
発表形式：一般演題ポスター  
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成を目的とした大学間合同実習の試み」

### 日本薬学会第133年会

日 時：平成25年3月27日（水）～30日（土）  
会 場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）  
発表形式：一般演題ポスター  
発表テーマ：「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎における大学間合同在宅がん医療・緩和ケア実習の試み」

### 第15回日本在宅医学会大会

日 時：平成25年3月30日（土）～31日（日）  
会 場：ひめぎんホール（愛媛県松山市）  
発表形式：一般演題ポスター  
発表テーマ：「大学間連携教育の推進を目的とした多職種協働による在宅緩和ケア実習の試み」

## 平成25年度

### 第21回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会in長崎

日 時：平成25年7月6日（土）～7日（日）  
会 場：長崎ブリックホール（長崎県長崎市）  
発表形式：一般演題ポスター  
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成を目的とした大学間合同専門職連携教育の展開」

### 第45回日本医学教育学会大会

日 時：平成25年7月26日（金）～27日（土）  
会 場：千葉大学（千葉県千葉市）  
発表形式：一般演題ポスター  
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成を目的とした大学間合同専門職連携教育の試み」

## 大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム

日 時：平成26年2月18日（火）

会 場：学術総合センター 一橋講堂（東京都千代田区）

発表形式：ポスター

発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」



平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組  
 「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」



わが国の保健医療分野では多職種協働による在宅医療体制の整備が重要な課題となっており、地域包括ケアの中で在宅がん患者の療養支援を行う体制整備を推進する必要性は高い。そこで、本事業は薬学・看護学の統合教育体制を確立している長崎県内の国公私立3大学（長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学）が、さらに医学・歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図り、県内の4自治体・12職能団体と連携・一体となって、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成の拠点作りを目指す取組である。

## プロジェクト概要

**育てたい人材像** 多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性と協調性を身につけ、在宅がん医療に貢献できる人材。

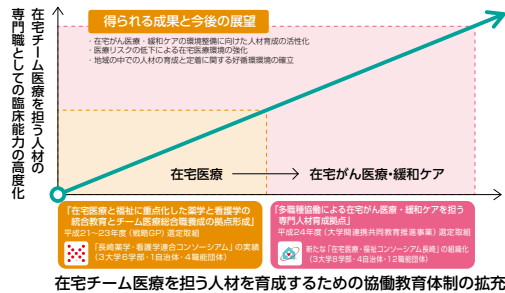
**連携の戦略** 既に確立している在宅チーム医療に関する薬学と看護学の統合教育体制を基盤とし、新たに医学や歯学等の教育者と地域の人材を加えた協働教育体制の充実を図ることにより、実行性のある連携教育を展開する。

**「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の組織化**

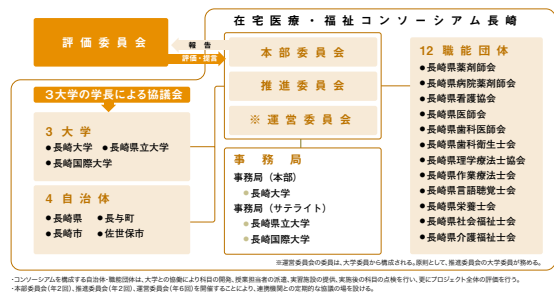
**連携の成果** 学生は多職種協働の必要性を認識し、自らの専門分野とは異なる分野のケアに関する基礎力、応用力、実践力を身につけ、在宅がん患者の療養支援をできる専門性を修得する。学生は地域の在宅医療機関や福祉施設で広く活躍する。

在宅医療・福祉コンソーシアム長崎のロゴマーク

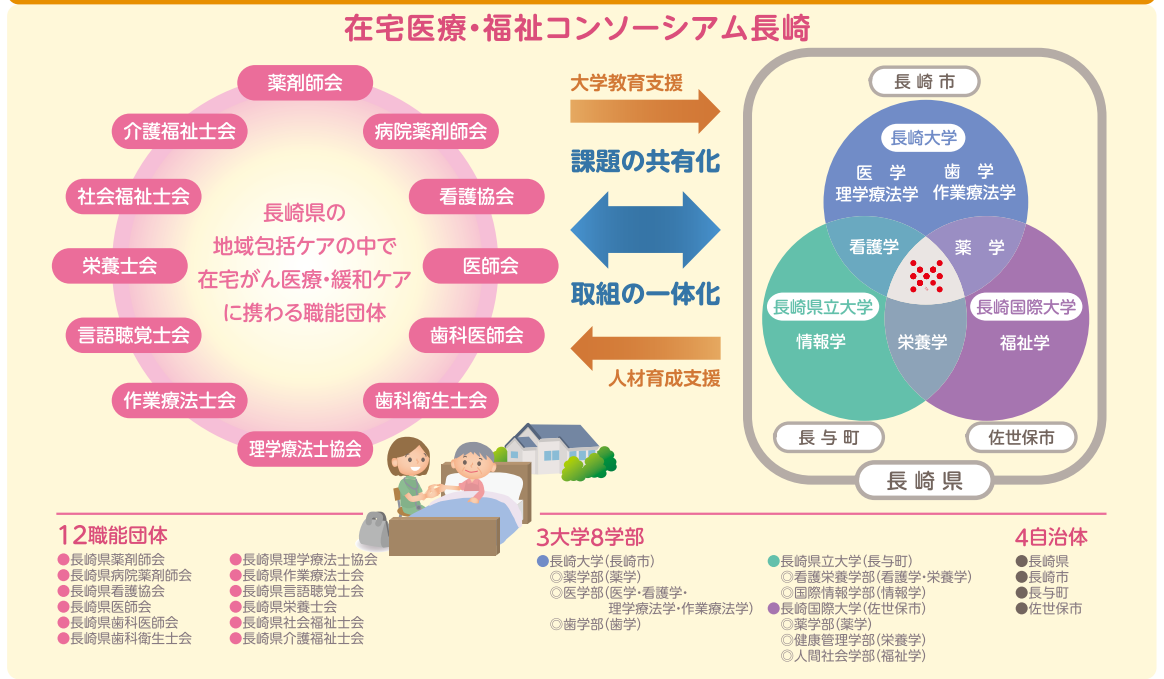
### 多職種協働による在宅チーム医療体制の発展・充実



### 運営体制と評価体制



### 連携取組の実現に向けた実施体制



長崎県内で薬剤師と看護師の養成課程を持つ国公私立3大学が、1自治体・5職能団体と連携し、平成21年度から活動を続けているコンソーシアム。

# 大学間単位互換科目の開発年次計画

科目名	コーディネート科目	学年	授業方法	区分	開講担当	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
在宅がん治療概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅ケア概論	❖	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅緩和ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎県立大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅医療概論	❖	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅チーム医療 早期体験学習	❖	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	前期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア 早期体験学習	○	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
薬物治療実践学	❖	—	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎大学	前期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅看護論	❖	—	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅がん治療特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅緩和ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅がん医療・緩和 ケア合同実習	○	高学年	実習	合同実習 (実践力)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	3月6～8日に 小規模トライアル 実施	2月～3月に 大規模トライアル 実施予定	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、 充実化を図る。	

科目のモジュール化 ↓ 大学間単位互換プログラムの体系化

講義    実習    演習

## 長崎薬学・看護学連合コンソーシアムのロゴマーク

**NICE キャンパス長崎について**  
長崎県内全ての大学、短期大学および高等専門学校で構成される単位互換制度 (本コンソーシアム提供科目:平成25年度履修者359名)

## 地域包括ケア早期体験学習

### 【実習概要】

**目的** 地域の在宅医療支援施設の担当者とともに在宅療養者宅への同行や地域包括支援センターの実務を学ぶことを通し、在宅療養支援の実態を知ること、多職種協働によるチームアプローチの重要性を考える。

**一般目標** 高齢者をはじめとする地域住民の保健・医療・福祉・介護ニーズに対して、地域包括支援センターが果たしている役割や、地域の関係機関と専門職がどのように連携し支援を行っているのかを理解する。

開講期間:平成25年9月18日(水)～平成25年9月19日(木)

開講場所:長崎大学薬学部、長崎市内の地域包括支援センター

対象:「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している1年次以上の学生

内容:施設体験学習後、「理想の地域包括支援センターを創ろう～ゆるキャラも創ろう～」をテーマとしてグループワークを行い、学習報告会で発表する。



参加学生 29名

歯学 ..... 4名  
薬学 ..... 6名  
看護学 ..... 11名  
栄養学 ..... 4名  
社会福祉学 4名

### 学生の声

#### 歯学生

(長崎大学歯学部歯学科2年)

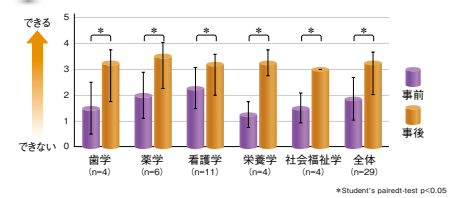
今まで地域包括支援センターについて知らなかったのだが、今回の実習を通して、地域や高齢者を支援する方法はたくさんあるのだと思った。今後自分ができるか、何をすべきか、歯学部生として考えていかなければならないと思った。

#### 看護学生

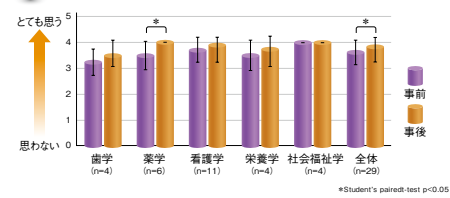
(長崎県立大学看護栄養学部看護学科1年)

今回、他職種や他機関との連携がとても大切であると感じた。そのため、どんな環境でも対応できるような協調性を身につけていかなければならないと考える。そして、今回のように他大学・学科・学年の人たちなど、様々な人々と積極的に関わりを持っていくことと思う。また、他職種や他機関で働く人々の考え方や価値観なども学んでいこうと思う。

1 高齢者をはじめとする地域の様々な健康レベル・介護レベルにある人々が必要としているケアの内容について述べることができそうですか?



2 他学科の学生との学習は他の専門職への理解を深める良い機会になる(なった)と思いますか?



**長崎大学**  
(長崎市)  
(電話局)  
〒850-8501 長崎市中区町1-14  
長崎大学薬学部内  
TEL:095-813-2460  
E-mail: info@nuc-nagasaki.jp

**長崎県立大学**  
(西彼村郡長与町)  
(事務局(リテライト))  
〒851-2195 長崎県長与町長与1-1-1  
長崎県立大学薬学部内  
TEL&FAX: 095-813-5172

**長崎国際大学**  
(佐世保市)  
(保健系(学生生活))  
〒859-3208 佐世保市  
ハリスンスタス728257  
長崎国際大学薬学部内  
TEL: 0956-20-5611 FAX: 0956-20-5622

# 平成26・27・28年度の事業計画

## 26 年度

平成26年度の補助事業の目的を達成するため、下記のスケジュールで事業を推進し、事業展開の充実を図る。

- ①本部委員会・推進委員会・運営委員会の各種委員会を定期的を開催することに加えて、事業推進状況の打合せを行う作業会議を頻繁に開催し、実行性のある連携教育を展開するための体制を強化する。
- ②立ち上げた情報発信・広報活動体制を継続し、そのシステムを検証することで広報実施のあり方を検討するとともに、ホームページ、マスメディア等を活用した情報発信を行う。
- ③平成25年度にNICEキャンパス長崎に科目登録し、1年間にわたって開講した大学間合同による在宅がん医療・緩和ケアをテーマとした低学年向け合同授業（講義）4科目（在宅がん治療概論、在宅ケア概論、在宅緩和ケア概論、在宅医療概論）と高学年向け合同授業（講義・演習）3科目（薬物治療実践学、在宅看護論、在宅がん治療特論）の合計7科目を引き続きカリキュラムを改善し継続して実施する。加えて新たに低学年向け合同授業（講義）1科目（在宅がん包括ケア概論）と高学年向け合同授業（講義・演習）2科目（在宅緩和ケア特論、在宅がん包括ケア特論）の合計3科目をNICEキャンパス長崎に科目登録し、1年間にわたって開講する。それら10科目の内容を適宜見直し、体系化させた順次性カリキュラムの充実を図る。
- ④多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア教育を推進する指導者養成を目的とした教育セミナー・ワークショップを開催するとともに、大学教育を支援する地域包括ケアに携わる専門職の実践教育指導能力向上を目的として、学生参加型研修会等を企画し、県内の各地区で開催する。
- ⑤多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアをテーマとした大学教育プログラムの立案・企画に資する研修等へ参加する。
- ⑥全国の多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア関連学会で取組の成果を報告し、全国の大学関係者等へ向けて情報発信する。
- ⑦平成25年度にNICEキャンパス長崎に科目登録し、夏季休暇中に開講した低学年向け合同実習（在宅チーム医療早期体験学習、地域包括ケア早期体験学習）を引き続きカリキュラムを改善し継続して実施するとともに、高学年向け合同実習（在宅がん医療・緩和ケア合同実習）をNICEキャンパス長崎に科目登録する。
- ⑧地域等へ本事業活動の情報を発信することを目的とした長崎県民フォーラムや長崎がんフォーラムを開催する。
- ⑨事業取組3年目までの成果に対して、プログラム評価委員会による第2回中間評価を受け、改善を行う。
- ⑩事業評価・改善提案と本年度の活動実績をまとめた報告書を作成する。

# 27 年度

平成27年度の補助事業の目的を達成するため、下記のスケジュールで事業を推進し、計画した事業の完成を目標とした取組を行う。

- ①本部委員会・推進委員会・運営委員会の各種委員会を定期的を開催することに加えて、事業推進状況の打合せを行う作業会議を頻繁に開催し、実行性のある連携教育を展開するための体制を構築する。
- ②立ち上げた情報発信・広報活動体制を継続し、そのシステムを検証することで広報実施のあり方を検討するとともに、ホームページ、マスメディア等を活用した情報発信を行う。
- ③平成26年度にNICEキャンパス長崎に科目登録し、開講した大学間合同による在宅がん医療・緩和ケアをテーマとした13科目を、引き続きカリキュラムを改善し継続して実施するとともに、それら全ての科目をモジュール化する。
- ④多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア教育を推進する指導者養成を目的とした教育セミナー・ワークショップを開催するとともに、大学教育を支援する地域包括ケアに携わる専門職の実践教育指導能力向上を目的として、学生参加型研修会等を企画し、県内の各地区で開催する。
- ⑤多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアをテーマとした大学教育プログラムの立案・企画に資する研修等へ参加する。
- ⑥全国の多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア関連学会で取組の成果を報告し、全国の大学関係者等へ向けて情報発信する。
- ⑦地域等へ本事業活動の情報を発信することを目的とした長崎県民フォーラムや長崎がんフォーラムを開催する。
- ⑧事業取組4年目までの成果に対して、プログラム評価委員会による第3回中間評価を受け、最終年度の事業計画へフィードバックする。
- ⑨事業評価・改善提案と本年度の活動実績をまとめた報告書を作成する。



# 28 年度

平成28年度の補助事業の目的を達成するため、下記のスケジュールで事業を推進し、5年間の事業を完成させ、計画した初期の目標を達成する。そして、平成29年度以降の事業継続に向けた取組組織を整備する。

- ①本部委員会・推進委員会・運営委員会の各種委員会を定期的を開催することに加えて、事業推進状況の打合せを行う作業会議を頻繁に開催し、実行性のある連携教育を展開するために構築した体制の充実を図り、平成29年度以降の事業継続に向けた取組組織を整備する。
- ②立ち上げた情報発信・広報活動体制を継続し、そのシステムを検証することで広報実施のあり方を検討するとともに、様々な媒体を活用した情報発信を行う。
- ③平成27年度にNICEキャンパス長崎に科目登録し、モジュール化した大学間合同による在宅がん医療・緩和ケアをテーマとした13科目を、引き続きカリキュラムを改善し継続して実施することで、大学教育プログラムを体系化する。
- ④多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア教育を推進する指導者養成を目的とした教育セミナー・ワークショップを開催するとともに、大学教育を支援する地域包括ケアに携わる専門職の実践教育指導能力向上を目的として、学生参加型研修会等を企画し、県内の各地区で開催する。
- ⑤多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアをテーマとした大学教育プログラムの立案・企画に資する研修等へ参加する。
- ⑥全国の多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア関連学会で取組の成果を報告し、全国の大学関係者等へ向けて情報発信する。
- ⑦地域等へ本事業活動の情報を発信することを目的とした長崎県民フォーラムや長崎がんフォーラムを開催する。
- ⑧事業取組5年間の成果に関する報告を行い、プログラム評価委員会による最終評価を受け、本事業の成果に関する総括を行う。
- ⑨事業評価・改善提案と本年度及び事業期間全体の活動実績をまとめた報告書を作成する。



# 点検・評価

# 評価委員会会議

## 評価委員会

日 時：平成26年1月20日（月） 13：00～14：30

場 所：長崎大学薬学部柏葉会館会議室（柏葉会館2階）

### 1. 報告事項

平成24・25年度2年間の取組実施状況とその成果について

### 2. 協議事項

平成24・25年度2年間の取組の評価について

### 中間評価結果

評価委員会では、事業推進担当者の取組報告の後、丸山徹評価委員長のもと8項目について以下の3段階の評価基準で評価を実施。

【 評価基準 S（当初予定以上）、A（当初予定通り）、B（当初予定以下） 】

## 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎評価委員会ピアレビュー

評価委員長 丸山 徹

平成26年1月20日に、長崎大学にて、平成25年度の在宅医療・福祉コンソーシアム長崎評価委員会を開催した。まず、本事業の推進事務局を担当している長崎大学薬学部の中嶋教授から、本コンソーシアムの概要、平成25年度の事業取組と平成25年度以降のコンソーシアムの活動計画（案）についての説明がなされた。

次いで、平成25年度の事業内容（①在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の設立及び事務局・サテライト事務局の設置、並びに本部委員会・推進委員会・運営委員会の設置と定期的な開催による実施体制の整備、②広報システムの立ち上げ及び広報活動・成果発表・情報発信の実施、③低学年向け合同授業の「NICEキャンパス長崎」への科目登録と開講、④低学年向け合同実習の「NICEキャンパス長崎」への科目登録と開講、⑤「NICEキャンパス長崎」への科目登録に向けた高学年向け合同実習トライアルの実施、⑥本事業活動の情報発信を目的としたシンポジウム、フォーラム等の開催、⑦多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア教育に関するセミナー等の開催及びアンケート調査の実施、⑧中間評価の実施）の8項目について評価委員会メンバーで協議した。その結果、①については、自己評価（A）と同様、コンソーシアムの枠組みが設置でき、当初の予定どおりに運営され始めている点を評価するという意見で一致した。ただし、委員会を重ねる中で、どのような課題が見出されたのか？、またそれがどのように修正されていったのか？、を配布資料に記述してあれば、よ

り評価しやすかったのではないか、あるいは、運営委員会に学生代表者を加えたらどうかという提言もあった。②に関しては、委員会メンバー全員一致で自己評価（A）と同等の評価が示された。ホームページの見やすさを評価する一方、昨今のモバイル環境を考慮し、スマートフォンサイトの構築やSNSの活用も必要ではないかという意見もあった。また、高校生に対してもこのような先駆的な取り組みが実施されていることを広報したほうがいいのではないかという提言も寄せられた。③の場合も全員一致で、自己評価（A）と同等の結果が示された。個別意見としては、1）カリキュラム間の位置付けが考慮されていると思われるが、それがよりわかりやすい形で理解できるようにしたほうがいいのではないか、2）参加人数の妥当性について再検討が必要かもしれない、3）eラーニングが可能なように、貴重な講義内容のアーカイブ化が必要ではないか？、それにより卒業教育や社会人教育にも活用できるだけでなく、各参加団体にも貸し出しあるいは閲覧が可能となり、取り組みの広報にも繋がる上、より有機的な取り組みも期待できるのではないか？、という意見があった。④については、予定以上の成果が得られていると、取り組み内容を高く評価する委員が大部分であった（S（7名）、A（1名））。参加者が予定の人数以上であったことは素晴らしいが、一方で、医学科の学生の参加を増やすことが次年度以降の課題であるという提言が示された。⑤については、当初の予定通りに実施されていることから、全員一致で自己評価（A）と同じ結果が提示された。委員の中には、カンファレンスの内容をUSTREAM等で配信すると、広報にもつながるのでは？、という意見があった。希望としては、研修会をシリーズ化している点が高く評価された。⑥については、全員一致で当初の予定通りにシンポジウムやフォーラムが継続して開催されていると回答していた。加えて、参加者に対するアンケートの実施（もし実施している場合はその結果）を希望する意見があった。⑦についても、全員が自己評価（A）と同等に評価していた。個別意見としては、アンケート結果の提示、アンケート結果に基づくブラッシュアップの必要性、セミナー内容のアーカイブ化の必要性、が提言された。⑧に関しては、自己評価と同等の結果であった。ただし、次年度以降の委員会運営について、書面会議が提案され、協議の結果、次年度は原則、書面会議を行うこととした。

以上示したように、平成25年度の取り組みについては、全ての項目について、当初の予定通りあるいは予定以上に実施されていることを確認することができた。また、次年度の事業計画内容が妥当であると判断した。今後の取り組みの更なる展開を大いに期待したい。

自己点検ならびに評価結果

平成24・25年度	実施状況（平成25年12月現在）	自己評価	評価結果
<p>在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の設立及び事務局(代表校)・サテライト事務局(連携校)の設置、並びに本部委員会・推進委員会・運営委員会の設置と定期的な開催による実施体制の整備</p>	<p>平成24年12月 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎を設立した。長崎大学に事務局、長崎県立大学と長崎国際大学にサテライト事務局を設置した。代表校事務局にプログラム専任教員4名（医師免許取得者1名、歯科医師免許取得者1名、薬剤師免許取得者1名、看護師免許取得者1名）を採用した。連携校のサテライト事務局にプログラム専任教員1名をそれぞれ採用した（長崎県立大学：看護師免許取得者1名、長崎国際大学：薬剤師免許取得者1名）。代表校と連携校にすでに設置されているテレビ会議システムを活用し、大学間における双方の連絡調整が可能なネットワーク体制を構築した。</p> <p><b>【平成24年度】</b>  <b>【本部委員会】</b>            第1回本部委員会 出席総数 28名、 第2回本部委員会 出席総数 21名  <b>【推進委員会】</b>            第1回推進委員会 出席総数 31名、 第2回推進委員会 出席総数 23名  <b>【運営委員会】</b>            第1回運営委員会 出席総数 17名、 第2回運営委員会 出席総数 14名            第3回運営委員会 出席総数 15名、 第4回運営委員会 出席総数 12名            第5回運営委員会 出席総数 12名、 第6回運営委員会 出席総数 12名</p> <p><b>【平成25年度】</b>  <b>【本部委員会】</b>            第1回本部委員会 出席総数 23名 ※第2回本部委員会 3月実施予定  <b>【推進委員会】</b>            第1回推進委員会 出席総数 28名 ※第2回推進委員会 2月実施予定  <b>【運営委員会】</b>            第1回運営委員会 出席総数 11名、 第2回運営委員会 出席総数 13名            第3回運営委員会 出席総数 14名、 第4回運営委員会 出席総数 13名            第5回運営委員会 出席総数 14名、 ※第6回運営委員会 2月実施予定</p>	<p>A</p>	<p>S：0名 A：8名 B：0名</p>
<p>広報システムの立ち上げ及び広報活動・成果発表・情報発信の実施</p>	<p><b>【広報システム】</b>            平成24年12月にホームページを立ち上げた。</p> <p><b>【広報活動】</b>            新聞広告、路面電車内の中吊り広告、長崎市運営の無料掲示板広告すると共に、公共施設（図書館等）でチラシ配布等を行った。</p> <p><b>【成果発表】</b>            &lt;平成24年度&gt;            日本薬学会第133年会（平成25年3月、横浜）            日本臨床腫瘍薬学会学術大会2013（平成25年3月、東京）            第15回日本在宅医学会大会（平成25年3月、松山）            &lt;平成25年度&gt;            第21回日本ホスピス・在宅ケア研究会（平成25年7月、長崎）            第45回日本医学教育学会大会（平成25年7月、千葉）</p> <p><b>【活動報告書】</b>            平成24年度年間活動報告書編集及び発行            平成25年度早期体験学習報告書編集及び発行            平成25年度年間活動報告書現在作成中</p>	<p>A</p>	<p>S：0名 A：8名 B：0名</p>

平成24・25年度	実施状況（平成25年12月現在）	自己評価	評価結果																
低学年向け合同授業（講義）及び高学年向け合同授業（講義・演習）の「NICEキャンパス長崎」への科目登録と開講	平成25年度は低学年向け合同授業（講義）4科目、高学年向け合同授業（講義・演習）3科目の合計7科目を「NICEキャンパス長崎」に科目登録し、開講した。 <b>【低学年向け合同授業（講義）】</b> ①「在宅がん治療概論」 （長崎大学、講義、2単位） 履修生：14名、聴講生：4名 ②「在宅ケア概論」 （長崎大学、講義、2単位） 履修生：18名、聴講生：9名、一般社会人：2名 ③「在宅緩和ケア概論」 （長崎県立大学、講義、2単位） 履修生：33名、聴講生：2名、一般社会人：30名 ④「在宅医療概論」 （長崎国際大学、講義、2単位） 履修生：95名、一般社会人：5名 <b>【高学年向け合同授業（講義・演習）】</b> ⑤「薬物治療実践学」 （長崎大学、講義、1単位） 履修生：35名 ⑥「在宅看護論」 （長崎県立大学、講義、2単位） 履修生：73名 ⑦「在宅がん治療特論」 （長崎大学、演習、2単位） 履修生：14名、聴講生5名	A	S：0名 A：8名 B：0名																
低学年向け合同実習の「NICEキャンパス長崎」への科目登録と開講	平成25年度は低学年向け合同実習2科目を「NICEキャンパス長崎」に科目登録し、3大学・全連携学部合同で夏季休暇中に開講した。また、連携3大学以外の大学からの履修生もあった。 <b>【低学年向け合同実習】</b> ①「在宅チーム医療早期体験学習」 [概要] 長崎大学、合宿型実習2日間、実習施設：訪問看護ステーション・薬局（在宅療養在宅への居宅訪問を含む）、1単位 履修生：38名 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">長崎大学</td> <td>医学部（医学科・保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎県立大学</td> <td>看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎国際大学</td> <td>薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）、人間社会学部（社会福祉学科）</td> </tr> <tr> <td>活水女子大学</td> <td>看護学部（看護学科）</td> </tr> </table> </div> 聴講生：1名 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             長崎国際大学大学院 健康管理学研究科（健康管理学専攻）           </div> ②「地域包括ケア早期体験学習」 [概要] 長崎大学、実習2日間、実習施設：地域包括支援センター（在宅療養在宅への居宅訪問を含む）、1単位 履修生：29名 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">長崎大学</td> <td>医学部（保健学科）、歯学部（歯学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎県立大学</td> <td>看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎国際大学</td> <td>薬学部（薬学科）、人間社会学部（社会福祉学科）</td> </tr> <tr> <td>活水女子大学</td> <td>看護学部（看護学科）</td> </tr> </table> </div>	長崎大学	医学部（医学科・保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）	長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）	長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）、人間社会学部（社会福祉学科）	活水女子大学	看護学部（看護学科）	長崎大学	医学部（保健学科）、歯学部（歯学科）	長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）	長崎国際大学	薬学部（薬学科）、人間社会学部（社会福祉学科）	活水女子大学	看護学部（看護学科）	S	S：1名 A：7名 B：0名
長崎大学	医学部（医学科・保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）																		
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）																		
長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）、人間社会学部（社会福祉学科）																		
活水女子大学	看護学部（看護学科）																		
長崎大学	医学部（保健学科）、歯学部（歯学科）																		
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）																		
長崎国際大学	薬学部（薬学科）、人間社会学部（社会福祉学科）																		
活水女子大学	看護学部（看護学科）																		

平成24・25年度	実施状況（平成25年12月現在）	自己評価	評価結果						
<p>「NICEキャンパス長崎」への科目登録に向けた高学年向け合同実習トライアルの実施</p>	<p>平成24年度は小規模トライアルを3大学・全連携学部が合同で実施した。平成25年度は参加人数30名規模の大規模トライアルを3大学・全連携学部が合同で平成26年3月に実施予定である。</p> <p><b>【高学年向け合同実習】</b>  <b>「在宅がん医療・緩和ケア合同実習トライアル」</b>          &lt;平成24年度&gt;          [概要] 長崎大学、実習（3日間）、実習施設：長崎大学病院のがん診療センター・地域医療連携センター等、在宅療養支援診療所、歯科診療所、薬局（在宅療養者宅への居宅訪問を含む）          参加学生数：18名</p> <table border="1" data-bbox="400 678 1209 846"> <tr> <td>長崎大学</td> <td>医学部（医学科・保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎県立大学</td> <td>看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎国際大学</td> <td>薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）、人間社会学部（社会福祉学科）</td> </tr> </table> <p>&lt;平成25年度&gt;          [概要] 長崎大学、実習（3日間）、実習施設（予定）：長崎大学病院のがん診療センター・地域医療連携センター等、在宅療養支援診療所、歯科診療所（在宅療養者宅への居宅訪問を含む）※3月実施予定          参加学生数(予定数)：30名</p>	長崎大学	医学部（医学科・保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）	長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）	長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）、人間社会学部（社会福祉学科）	A	<p>S：0名 A：8名 B：0名</p>
長崎大学	医学部（医学科・保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）								
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）								
長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）、人間社会学部（社会福祉学科）								
<p>本事業活動の情報発信を目的としたシンポジウム、フォーラム等の開催</p>	<p>平成24年度は3大学が合同で、キックオフシンポジウム、長崎県民フォーラム及び長崎がんフォーラムを、長崎地区・佐世保地区で計4回開催した。加えて、平成25年度は、長崎県民フォーラムを長崎地区・佐世保地区で計3回開催予定である。</p> <p><b>【平成24年度】</b>  <b>【キックオフシンポジウム】</b>          日 時：平成24年12月18日（火）13：00～16：00          会 場：長崎大学中部講堂          参加総数：221名</p> <p><b>【第1回長崎県民フォーラム】</b>          テー マ：考えよう！これからの在宅医療を          日 時：平成25年2月17日（日）14：00～17：00          会 場：アルカスSASEBO          参加総数：169名          特別講演①「安全で美味しい楽しい食べ方を教えます」          昭和大学歯学部准教授 弘中 祥司          特悦講演②「生きる力を考えよう」          九州大学名誉教授 信友 浩一</p> <p><b>【第2回長崎県民フォーラム】</b>          テー マ：考えよう！これからの在宅医療を          日 時：平成25年2月23日（土）13：00～16：00          会 場：NCC&amp;スタジオ          参加総数：205名          特別講演①「“緩和ケア”に参加しよう」          東京医科大学病院緩和医療部看護師長・緩和ケア認定看護師 柏谷 優子          特別講演②「在宅療養者の食事の重要性」          九州女子大学家政学部栄養学科教授 巴 美樹          特別講演③「家で過ごすということ」          ホーム・ホスピス中尾クリニック院長 中尾 勘一郎、ご家族の方</p>	A	<p>S：0名 A：8名 B：0名</p>						

平成24・25年度	実施状況（平成25年12月現在）	自己評価	評価結果
	<p><b>[長崎がんフォーラム]</b>            テーマ：考えよう！これからのがん医療を            日時：平成25年3月3日（日）14：00～17：00            会場：NCC&amp;スタジオ            参加総数：131名            特別講演①「がん診療の現状と課題～長崎大学病院の取組～」            長崎大学病院がん診療センター長・教授 芦澤 和人            特悦講演②「地域緩和医療の絆として薬局が在るためには」            明治薬科大学教授・日本緩和医療薬学会代表理事 加賀谷 肇</p> <p><b>【平成25年度】</b>  <b>[第1回長崎県民フォーラム]</b>            テーマ：考えよう！これからの在宅がん医療を～痛みの緩和と生活のうらおい～            日時：平成25年9月28日（土）13：00～15：45            会場：アルカスSASEBO            参加総数：108名            特別講演①「緩和ケア～穏やかな時間を取り戻すために」            長崎大学病院看護部緩和ケアチーム専従看護師 池田 津奈子            特悦講演②「緩和医療と薬～上手に使うって暮らしをまもろう～」            長崎大学病院薬剤部麻薬管理室長・緩和ケアチーム 龍 恵美            特別講演③「旅を諦める必要はありません。あなたの人生に、旅の喜びを。」            旅のよるこび株式会社代表取締役 宮川 和夫</p> <p><b>[第2回長崎県民フォーラム]</b>            テーマ：考えよう！これからの在宅がん医療を            ～私がうけたい医療、私のがのぞむ生き方～            日時：平成25年12月7日（土）14：00～16：00            会場：長崎県立大学 シーボルト校 大講義室            参加総数：287名            特別講演 「私がうけたい医療、私のがのぞむ生き方」            医療法人社団裕和会 長尾クリニック院長 長尾 和宏</p> <p><b>[第3回長崎県民フォーラム]</b>            テーマ：考えよう！これからの在宅がん医療を            日時：平成26年2月22日（土）14：00～16：30            会場：長崎大学 文教スカイホール            参加定員：200名            特別講演 「外見ケアで、自分らしくいきいきと！」            テーマ①がんによる外見の変化と心            テーマ②あなたにもできるかんたん外見ケア            国立がん研究センター中央病院アピランス支援センター            野澤 桂子（同センター長/臨床心理士）            臨床心理士（臨床心理士）</p>	A	S：0名 A：8名 B：0名



平成24・25年度	実施状況（平成25年12月現在）	自己評価	評価結果
<p>多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア教育に関するセミナー等の開催及びアンケート調査の実施</p>	<p><b>教育セミナー</b>  <b>【平成24年度】</b>  <b>第1回教育セミナー</b>（平成25年2月、長崎大学） 参加総数 28名  <b>第2回教育セミナー</b>（平成25年3月、長崎大学） 参加総数 28名  <b>【平成25年度】</b>  <b>第1回教育セミナー</b>（平成26年2月予定、長崎大学） 参加予定数10名  ※実施予定</p> <p>平成24年度に3大学と同じ専門職養成課程を持つ全国の大学へ、在宅医療・がん医療・緩和ケア教育の学習到達目標に関するアンケート調査を実施した。  ※平成25年度内に結果の集計予定</p>	A	<p><b>S：0名</b>  <b>A：8名</b>  <b>B：0名</b></p>
<p>中間評価の実施</p>	<p>評価委員会を組織し、取組2年目の平成26年1月20日に第1回中間評価委員会を開催予定である。</p>	A	<p><b>S：0名</b>  <b>A：8名</b>  <b>B：0名</b></p>



# 事業カレンダー

# 平成25年度事業カレンダー

## 平成25年4月

1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月	運営 広報	長崎県立大学と事業推進に関する 打ち合わせ 長崎大学
9	火	運営 広報	長崎国際大学学内運営委員会 長崎国際大学
10	水		
11	木	大学 教育	「在宅がん治療概論」(第1回) 長崎大学
12	金		
13	土		
14	日		
15	月	大学 教育	「薬物治療実践学」(第1回~第4回) 長崎大学
16	火		
17	水		
18	木	大学 教育	「在宅がん治療概論」(第2回) 長崎大学
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	大学 教育	「薬物治療実践学」(第5回~第8回) 長崎大学
23	火	委員会	第1回運営委員会 長崎大学
24	水		
25	木	運営 広報	第1回長崎県立大学学内運営委員会 長崎県立大学
		大学 教育	「在宅がん治療概論」(第3回) 長崎大学
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

## 平成25年5月

1	水		
2	木	大学 教育	「在宅がん治療概論」(第4回) 長崎大学
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議) 長崎大学
9	木	大学 教育	「在宅がん治療概論」(第5回) 長崎大学
10	金		
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木	委員会	第1回推進委員会 長崎大学
		運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議) 長崎大学
		大学 教育	「在宅がん治療概論」(第6回) 長崎大学
17	金		
18	土	学会等	第24回日本在宅医療学会学術集会 大阪新阪急ホテル(大阪)
19	日	学会等	第24回日本在宅医療学会学術集会 大阪新阪急ホテル(大阪)
20	月	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ 長崎大学
21	火		
22	水		
23	木	委員会	第1回本部委員会 長崎大学
		運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議) 長崎大学
		大学 教育	「在宅がん治療概論」(第7回) 長崎大学
24	金		
25	土		
26	日	学会等	第1回日独融合型薬局推進フォーラム プリーゼプラザ(大阪)
27	月		
28	火		
29	水		
30	木	大学 教育	「在宅がん治療概論」(第8回) 長崎大学
31	金	委員会	第2回運営委員会 長崎大学

平成25年6月

1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木	大学教育 「在宅がん治療概論」(第9回)	長崎大学
7	金		
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木	大学教育 「在宅がん治療概論」(第10回)	長崎大学
14	金		
15	土		
16	日		
17	月		
18	火	運営広報 事業推進に関する打ち合わせ	滑石・横尾地域包括支援センター(長崎)
19	水		
20	木	大学教育 「在宅がん治療概論」(第11回) 運営広報 事業推進に関する打ち合わせ	長崎大学 フランスシスコ訪問看護ステーション(長崎)
21	金		
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木	大学教育 「在宅がん治療概論」(第12回)	長崎大学
28	金		
29	土		
30	日	学会等 バイタルサイン講習会 (日本在宅薬学会)	AP東京八重洲通り(東京)

平成25年7月

1	月		
2	火		
3	水		
4	木	大学教育 「在宅がん治療概論」(第13回)	長崎大学
5	金		
6	土	学会等 第21回日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会in長崎	長崎ブリックホール(長崎)
7	日	学会等 第21回日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会in長崎	長崎ブリックホール(長崎)
8	月		
9	火	運営広報 事業推進に関する打ち合わせ	滑石・横尾地域包括支援センター(長崎)
10	水		
11	木	大学教育 「在宅がん治療概論」(第14回)	長崎大学
12	金	運営広報 長崎大学学内作業会議	長崎大学
13	土		
14	日		
15	月		
16	火		
17	水	運営広報 事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議)	長崎大学
18	木	運営広報 事業推進に関する打ち合わせ 大学教育 「在宅がん治療概論」(第15回)	長崎在宅Dr.ネット(長崎) 長崎大学
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木	学会等 居宅療養管理指導ができる・これから 在宅コース(ネオフィスト研究所)	新宿センタービル(東京)
26	金	学会等 居宅療養管理指導ができる・これから 在宅コース(ネオフィスト研究所) 学会等 第45回日本医学教育学会大会	新宿センタービル(東京) 千葉大学(千葉)
27	土	学会等 第45回日本医学教育学会大会	千葉大学(千葉)
28	日		
29	月	運営広報 長崎大学学内作業会議	長崎大学
30	火		
31	水		

平成25年8月

1	木	運営 広報	「在宅チーム医療早期体験学習」に 関する打ち合わせ	長崎市立日吉青年の家（長崎）
2	金			
3	土			
4	日			
5	月	委員会	第3回運営委員会	長崎大学
6	火			
7	水	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議)	長崎大学
8	木			
9	金	学会等	第49回医学教育セミナーと ワークショップ	岐阜大学（岐阜）
10	土	学会等	第49回医学教育セミナーと ワークショップ	岐阜大学（岐阜）
11	日			
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	日			
19	月			
20	火	大学 教育	「在宅チーム医療早期体験学習」事前 オリエンテーション	長崎大学
21	水	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議)	長崎大学
22	木	運営 広報	「在宅チーム医療早期体験学習」に 関する打ち合わせ	長崎大学・長崎県立大学・ 長崎国際大学（TV会議）
23	金			
24	土			
25	日			
26	月	大学 教育	「在宅チーム医療早期体験学習」 事前オリエンテーション	長崎県立大学
27	火			
28	水	運営 広報	長崎大学学内作業会議	長崎大学
29	木	大学 教育	「在宅チーム医療早期体験学習」 事前オリエンテーション	長崎国際大学
30	金	大学 教育	「在宅チーム医療早期体験学習」	長崎大学、他
31	土			

平成25年9月

1	日			
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議)	長崎大学
10	火			
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	日			
16	月			
17	火	大学 教育	「地域包括ケア早期体験学習」 事前オリエンテーション	長崎大学
18	水	大学 教育	「地域包括ケア早期体験学習」	長崎大学、他
19	木	大学 教育	「地域包括ケア早期体験学習」	長崎大学、他
20	金			
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			
25	水	運営 広報	長崎大学学内作業会議	長崎大学
26	木			
27	金			
28	土	大学 教育 フォー ラム等	「在宅医療概論」（第1回） 第1回長崎県民フォーラム	長崎国際大学 アルカスSASEBO（長崎）
29	日			
30	月	運営 広報	長崎大学学内作業会議	長崎大学

平成25年10月

1	火	大学教育	「在宅看護論」(第1回)	長崎県立大学
2	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第1回)	長崎県立大学
3	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第1回)	長崎大学
4	金			
5	土	大学教育	「在宅医療概論」(第2回、第3回)	長崎国際大学
6	日			
7	月	運営広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議)	長崎大学
8	火	運営広報	第3回長崎県民フォーラムに関する打ち合わせ	国立がん研究センター中央病院(東京)
		大学教育	「在宅看護論」(第2回)	長崎県立大学
9	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第2回)	長崎県立大学
10	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第2回)	長崎大学
11	金			
12	土	大学教育	「在宅医療概論」(第4回、第5回)	長崎国際大学
13	日			
14	月			
15	火	運営広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議)	長崎大学
		大学教育	「在宅看護論」(第3回)	長崎県立大学
16	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第3回)	長崎県立大学
17	木	委員会	第4回運営委員会	長崎大学
		大学教育	「在宅ケア概論」(第3回)	長崎大学
18	金			
19	土	大学教育	「在宅医療概論」(第6回、第7回)	長崎国際大学
20	日			
21	月	運営広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議)	長崎大学
22	火			
23	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第4回)	長崎県立大学
24	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第4回)	長崎大学
25	金			
26	土	大学教育	「在宅がん治療特論」(第1回)	長崎国際大学
27	日			
28	月			
29	火			
30	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第5回)	長崎県立大学
31	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第5回)	長崎大学

平成25年11月

1	金			
2	土			
3	日			
4	月			
5	火	大学教育	「在宅看護論」(第4回)	長崎県立大学
6	水	運営広報	長崎大学学内作業会議	長崎大学
		大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第6回)	長崎県立大学
7	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第6回)	長崎大学
8	金			
9	土	大学教育	「在宅がん治療特論」(第2回)	長崎大学
10	日			
11	月			
12	火	運営広報	第3回長崎県民フォーラムに関する打ち合わせ	長崎大学
		大学教育	「在宅看護論」(第5回)	長崎県立大学
13	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第7回)	長崎県立大学
14	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第7回)	長崎大学
15	金			
16	土	大学教育	「在宅医療概論」(第8回、第9回)	長崎国際大学
		大学教育	「在宅がん治療特論」(第3回)	長崎国際大学
17	日			
18	月	運営広報	第3回長崎県民フォーラムに関する打ち合わせ	長崎大学
19	火	運営広報	第2回長崎県立大学学内運営委員会	長崎県立大学
20	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第8回)	長崎県立大学
21	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第8回)	長崎大学
22	金			
23	土	運営広報	第2回長崎県民フォーラム広告掲載	長崎新聞
		運営広報	第2回長崎県民フォーラム広告掲載	読売新聞
24	日	運営広報	第2回長崎県民フォーラム広告掲載	毎日新聞
		運営広報	第2回長崎県民フォーラム広告掲載	朝日新聞
25	月			
26	火	大学教育	「在宅看護論」(第6回)	長崎県立大学
27	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第9回)	長崎県立大学
28	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第9回)	長崎大学
29	金			
30	土	大学教育	「在宅がん治療特論」(第4回)	長崎大学

平成25年12月

1	日		
2	月		
3	火	大学教育	「在宅看護論」(第7回) 長崎県立大学
4	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第10回) 長崎県立大学
5	木	運営広報	第2回長崎県民フォーラム記事掲載 朝日新聞
		学会等	平成25年度文部科学省 先導的・大学の改革推進委託事業 医学・看護学・歯学チーム合同シンポジウム 東京医科歯科大学(東京)
		大学教育	「在宅ケア概論」(第10回) 長崎大学
6	金		
7	土	大学教育	「在宅医療概論」(第10回、第11回) 長崎国際大学
		フォーラム等	第2回長崎県民フォーラム 長崎県立大学シーボルト校
8	日		
9	月		
10	火	大学教育	「在宅看護論」(第8回、第9回) 長崎県立大学
11	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第11回) 長崎県立大学
12	木	運営広報	事業推進に関する打ち合わせ (3大学合同作業会議) 長崎大学
		大学教育	「在宅ケア概論」(第11回) 長崎大学
13	金		
14	土		
15	日		
16	月	委員会	第5回運営委員会 長崎大学
17	火	大学教育	「在宅看護論」(第10回) 長崎県立大学
18	水		
19	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第12回) 長崎大学
20	金	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第12回) 長崎県立大学
21	土	大学教育	「在宅医療概論」(第13回、第14回) 長崎国際大学
22	日	学会等	がん患者の外見ケアに関する教育研修 国立がん研究センター国際交流会館(東京)
23	月		
24	火	運営広報	事業推進に関する打ち合わせ 熊本大学
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

平成26年1月

1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火	大学教育	「在宅看護論」(第11回、第12回) 長崎県立大学
8	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(13回) 長崎県立大学
9	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第13回) 長崎大学
10	金		
11	土	大学教育	「在宅医療概論」(第15回) 長崎国際大学
12	日		
13	月		
14	火	運営広報	第3回長崎県民フォーラムに関する打ち合わせ 長崎大学
		大学教育	「在宅看護論」(第13回) 長崎県立大学
15	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第14回) 長崎県立大学
16	木	大学教育	「在宅ケア概論」(第14回) 長崎大学
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	委員会	評価委員会 長崎大学
21	火	大学教育	「在宅看護論」(第14回) 長崎県立大学
22	水	大学教育	「在宅緩和ケア概論」(第15回) 長崎県立大学
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月	運営広報	第3回長崎県民フォーラムに関する打ち合わせ 訪問看護ステーションYOU(長崎)
		大学教育	「在宅ケア概論」(第15回) 長崎大学
28	火	運営広報	「在宅がん医療・緩和ケア合同実習トライアル」に関する打ち合わせ 長崎国際大学
		大学教育	「在宅看護論」(第15回) 長崎県立大学
29	水		
30	木		
31	金	運営広報	事業推進に関する打ち合わせ 長崎大学

平成26年2月

1	土			
2	日			
3	月			
4	火	運営 広報	長崎県立大学と事業推進に関する打 ち合わせ	長崎県立大学
		運営 広報	「在宅がん医療・緩和ケア合同実習ト ライアル」に関する打ち合わせ	たくま医院（長崎）
		運営 広報	長崎大学学内作業会議	長崎大学
5	水			
6	木	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ（3大学 合同作業会議）	長崎大学
7	金	運営 広報	長崎国際大学と事業推進に関する打 ち合わせ	長崎国際大学
8	土	学会等	第28回日本がん看護学会学術集会	朱鷺メッセ新潟コンベンションセ ンター（新潟）
9	日	学会等	第28回日本がん看護学会学術集会	朱鷺メッセ新潟コンベンションセ ンター（新潟）
10	月			
11	火			
12	水	委員会	第2回推進委員会	長崎大学
13	木			
14	金			
15	土			
16	日			
17	月			
18	火	学会等	大学間連携共同教育推進事業選定取 組全国シンポジウム	学術総合センター 一橋講堂 （東京）
19	水			
20	木			
21	金	運営 広報	第3回長崎県立大学学内運営委員会	長崎県立大学
		運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ	長崎大学
22	土	フォー ラム等	第3回長崎県民フォーラム	長崎大学 文教スカイホール
23	日			
24	月			
25	火	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ（3大学 合同作業会議）	長崎大学
26	水			
27	木			
28	金			

平成26年3月

1	土	学会等	第16回日本在宅医学会大会	グランドホテル浜松（浜松）
2	日	学会等	第16回日本在宅医学会大会	グランドホテル浜松（浜松）
3	月			
4	火	委員会	第2回本部委員会	長崎大学
		大学 教育	平成25年度教育セミナー	長崎リハビリテーション病院 （長崎）
5	水	運営 広報	事業推進に関する打ち合わせ（3大学 合同作業会議）	長崎大学
6	木			
7	金	大学 教育	「在宅がん医療・緩和ケア合同実習ト ライアル」事前オリエンテーション	長崎大学
8	土			
9	日			
10	月			
11	火	大学 教育	「在宅がん医療・緩和ケア合同実習ト ライアル」事前オリエンテーション	長崎国際大学
12	水	大学 教育	在宅がん医療・緩和ケア合同実習ト ライアル	長崎大学病院（長崎）
13	木	大学 教育	在宅がん医療・緩和ケア合同実習ト ライアル	長崎大学、他
14	金	大学 教育	在宅がん医療・緩和ケア合同実習ト ライアル	長崎国際大学
15	土	学会等	第18回日本在宅ケア学会学術集会	一橋大学（東京）
16	日	学会等	第18回日本在宅ケア学会学術集会	一橋大学（東京）
17	月			
18	火	委員会	第6回運営委員会	※書面会議
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	日			
24	月			
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月			



## 参考 平成24年度事業カレンダー

平成24年	9月 3日	「大学間連携共同教育推進事業」採択
	9月 5日	長崎大学学内打合わせ会議開催
	9月11日	文部科学省主催「大学間連携共同教育推進事業」事前説明会出席
	9月21日	「大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定書」締結
	9月27日	「大学間連携共同教育推進事業」の交付内定
	10月16日	「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」3大学合同記者会見
	12月 6日	設立会議（第1回本部委員会会議）開催
		「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」設立
	12月18日	キックオフシンポジウム開催
12月26日	第1回推進委員会会議開催	
	第1回運営委員会会議開催	
平成25年	1月11日	第2回運営委員会会議開催
	1月31日	第3回運営委員会会議開催
	2月13日	第4回運営委員会会議開催
	2月17日	第1回長崎県民フォーラム開催
	2月23日	第2回長崎県民フォーラム開催
	2月26日	第1回教育セミナー開催
	2月28日	第2回推進委員会会議開催
		第5回運営委員会会議開催
	3月 3日	長崎がんフォーラム開催
	3月 4日	第2回教育セミナー開催
	3月6・7・8日	「在宅がん医療・緩和ケア合同実習トライアル」実施
	3月14日	第2回本部委員会会議開催
	3月21日	第6回運営委員会会議開催



資料

# チラシ・抄録等

## 第1回長崎県民フォーラム

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組  
「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

平成25年度  
第1回  
**長崎県民フォーラム**

**考えよう!**

参加費無料  
定員200名  
お申し込みは  
FAX・メール・お電話にて  
受付中

### これからの在宅がん医療を

痛みの緩和と生活のうらおい

**9月28日(土)**  
13:00~15:45(受付12:30~)

会場 長崎県佐世保市三浦町2-3  
アルカスSASEBO  
対象 一般の方  
※どなたでもご参加いただけます。



講演①  
緩和ケア  
～おだやかな時間を取り戻すために～  
池田 津奈子  
(長崎大学病院緩和ケアセンター副センター長)  
がん治療推進認定医



講演②  
緩和医療と薬  
～上手に使う暮らしをまもろう～  
龍 恵美  
(長崎大学病院緩和ケアセンター副センター長)  
緩和医療推進認定医



講演③  
旅を諦める必要はありません。  
あなたの人生に、旅の喜びを。  
宮川 和夫  
(緩和ケアコーディネーター、作家)



お問い合わせ  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 事務局 (サテライト)  
〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825番7  
TEL:0956-20-5611 FAX:0956-20-5622  
E-mail:t-gp@niu.ac.jp  
<http://www.hhc-nagasaki.jp/>  
○申込方法は、チラシ裏面またはホームページをご覧ください。

主催 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
協賛 長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、長与町、佐世保市、長崎県薬剤師会、長崎県獣医師会、長崎県医師会、長崎県看護協会、長崎県歯科大学、長崎県理学療法士会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県栄養士会、長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会

長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学

チラシ

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組  
「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

平成25年度 第1回 **長崎県民フォーラム** 抄録集

### 考えよう! これからの在宅がん医療を

痛みの緩和と生活のうらおい








**9月28日(土)**  
13:00~15:45(受付12:30~)

会場 長崎県佐世保市三浦町2-3  
アルカスSASEBO

主催 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、長与町、佐世保市、長崎県薬剤師会、長崎県獣医師会、長崎県医師会、長崎県看護協会、長崎県歯科大学、長崎県理学療法士会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県栄養士会、長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会

抄録集表紙

平成25年度 第1回 長崎県民フォーラム  
「考えよう! これからの在宅がん医療を」  
痛みの緩和と生活のうらおい  
**参加費無料 定員200名**  
受付中 お申し込みはメール・お電話にて

日時/平成25年**9月28日(土)**  
13:00~15:45(受付12:30~)

場所/アルカスSASEBO  
対象/一般の方 ※どなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ **0956-20-5611**  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
事務局(サテライト)  
長崎県佐世保市ハウステンボス町2825番7  
URL:<http://www.hhc-nagasaki.jp/> Email:t-gp@niu.ac.jp



ライフさせほ9月20日号 (No.1729) 掲載広告

## 第2回長崎県民フォーラム

平成25年度 第2回長崎県民フォーラム

**参加無料**  
どなたでも参加可

**考えよう! これからの在宅がん医療を**

私がうけたい医療 私のがぞむ生き方

【講師】  
長尾 和宏  
医療法人社団和合理事長  
長尾クリニック院長

【著書】  
『平穏死』10の条件、『家族が選ぶ「平穏死」』『買らうという選択、しない選択』など

【メッセージ】  
「がんになったら、最後まで自宅で過ごせない? そう思っている方がおられるかもしれません。決してそんなことはないです。在宅ホスピスという選択肢があります。著書『がんの花道』『我がん病』10のやめどき』に書いたメッセージも、分かり易くお伝えいたします。

平成25年  
日時 **12月7日** 土  
14:00~16:00(受付13:30~)

会場 **長崎県立大学**  
シーボルト校 大講義室(本部棟2階)

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

■お問い合わせ先  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 事務局(サテライト)  
〒951-2195 長崎県佐世市長崎分府子4丁目1-1 長崎県立大学 看護学実習室  
TEL・FAX:095-813-5172  
【メールアドレス】consortium@sun.ac.jp 【ホームページ】http://www.hhc-nagasaki.jp/

【主催】在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、長与町、佐世市、長崎県医師会、長崎県薬剤師会、長崎県看護師会、長崎県理学療法士会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県栄養士会、長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会

長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学 長崎県 長崎市 長与町 佐世市  
長崎県医師会 長崎県薬剤師会 長崎県看護師会 長崎県理学療法士会  
長崎県作業療法士会 長崎県言語聴覚士会 長崎県栄養士会  
長崎県社会福祉士会 長崎県介護福祉士会

チラシ

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

平成25年度 第2回 **長崎県民フォーラム** 抄録集

**考えよう! これからの在宅がん医療を**

私がうけたい医療、私のがぞむ生き方

平成25年  
日時 **12月7日** 土  
14:00~16:00(受付13:30~)

会場 **長崎県立大学**  
シーボルト校 大講義室  
(本部棟2階)

【主催】在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、長与町、佐世市、長崎県医師会、長崎県薬剤師会、長崎県看護師会、長崎県理学療法士会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県栄養士会、長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会

抄録集表紙

平成25年度 第2回長崎県民フォーラム

**考えよう! これからの在宅がん医療を**

私がうけたい医療 私のがぞむ生き方

日時 平成25年 **12月7日** 土 14:00~16:00 (受付13:30~)

会場 **長崎県立大学**  
シーボルト校 大講義室(本部棟2階)

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

■参加ご希望の方は、下記までTELかFAX・メールでご連絡下さい。(当日参加可)

在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 事務局(サテライト)  
TEL・FAX:095-813-5172 【メールアドレス】consortium@sun.ac.jp  
【ホームページ】http://www.hhc-nagasaki.jp/

【主催】在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、長与町、佐世市、長崎県医師会、長崎県薬剤師会、長崎県看護師会、長崎県理学療法士会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県栄養士会、長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会

【講師】  
長尾 和宏  
医療法人社団和合理事長  
長尾クリニック院長

【著書】  
『平穏死』10の条件、『家族が選ぶ「平穏死」』『買らうという選択、しない選択』など

【メッセージ】  
「がんになったら、最後まで自宅で過ごせない? そう思っている方がおられるかもしれません。決してそんなことはないです。在宅ホスピスという選択肢があります。著書『がんの花道』『我がん病』10のやめどき』に書いたメッセージも、分かり易くお伝えいたします。

平成25年11月24日(日) 読売新聞掲載広告

# 第3回長崎県民フォーラム

平成26年  
**2月22日** 土  
14:00~16:30(受付13:00~)

会場  
長崎大学(文教キャンパス)  
グローバル教育・学生支援棟4階  
[文教スカイホール]

事業報告  
「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の  
目指す取組」

テーマ① これまでの成果と今後の展望  
テーマ② 参加学生の声~多職種連携教育に参加して~

江崎 かの子 (長崎大学薬学部薬教授)  
阿部 由紀子 (長崎大学医学部医学科1年)  
高瀬 達生 (長崎大学医学部医学科1年)  
白石 直希 (長崎大学薬学部薬学科2年)  
田邊 和 (活水女子大学看護学部看護学科3年)

特別講演  
「外見ケアで、  
自分らしくいきいきと！」

テーマ① がんによる外見の変化と心  
テーマ② あなたにもできるかんたん外見ケア

国立がん研究センター中央病院 アピランス支援センター  
野澤 桂子 (副センター長 / 臨床心理士)  
藤岡 勝子 (臨床心理士)

野澤 桂子  
正数大学院生経験。在学中、医療  
による外見の変化に悩む患者の問  
題を知る。帰国後、臨床心理士資  
格、心療理学士号を取得し、2002  
年より北里大学病院、2005年より  
国立がんセンターにて外見に関する  
患者サポートプログラムを実施。山  
野美容芸術短期大学教授を経て、  
2013年より現職。

NHK[ニュースワッチ9]内の「特集まるごと」  
で「がん治療の副作用で外見の変化(ヒゲボ  
ト)と闘って、アピランス支援センターの取組  
み」が特集されました。(2013年9月18日放送)

オレンジグローパー  
アピランス支援センターのメンバーの  
たくさんがハードが重なり、患者さんが悩むこと  
を克服をサポートされました。

入場  
無料  
定員200名  
要事前申込

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

お問い合わせ先  
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 事務局  
〒852-8521 長崎市文政町1-14 長崎大学薬学院内  
TEL・FAX:095-819-2460  
E-mail info@hnc-nagasaki.jp URL http://www.hnc-nagasaki.jp/

【主催】在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、  
長崎県立大学、長崎県医師会、長崎県看護協会、  
長崎県看護協会、長崎県医師会、長崎県歯科医師会、  
長崎県薬剤師会、長崎県理学療法士会、  
長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会、  
長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会

長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学

チラシ

平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組  
「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」

平成25年度 第3回 長崎県民フォーラム 抄録集

考えよう！これからの  
在宅がん医療を

平成26年  
**2月22日** 土  
14:00~16:30(受付13:00~)

会場  
長崎大学(文教キャンパス)  
グローバル教育・学生支援棟  
4階[文教スカイホール]

【主催】在宅医療・福祉コンソーシアム長崎  
長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎県、長崎市、長崎市、  
長崎県立大学、長崎県医師会、長崎県看護協会、長崎県薬剤師会、  
長崎県歯科医師会、長崎県理学療法士会、長崎県社会福祉士会、  
長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県栄養士会、  
長崎県社会福祉士会、長崎県介護福祉士会

抄録集表紙

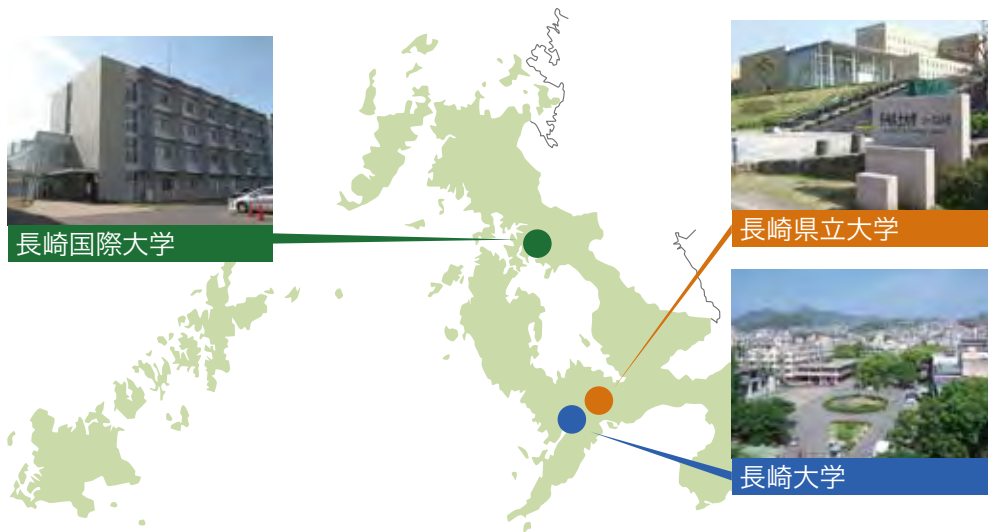


長崎市 ふれあい掲示板



路面電車 中吊り広告

# 構成大学



## 長崎大学

教育学部	学校教育教員養成課程
経済学部	総合経済学科
医学部	医学科、保健学科
歯学部	歯学科
薬学部	薬学科、薬科学科
工学部	工学科
環境科学部	環境科学科
水産学部	水産学科
大学院	教育学研究科、経済学研究科、 工学研究科、水産・環境科学総合研究科、 生産化学研究科、医歯薬学総合研究科、 国際健康開発研究科

1857年にオランダ軍医ポンペ・ファン・メールデルフォールトが、オランダ語による医学講義を開始した医学伝習所の設置が長崎大学の創基である。その後発展を重ね1949年に旧制の長崎医科大学、長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校、長崎高等学校を包括し長崎大学となる。長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献することを理念としている。

## 長崎県立大学

経済学部	経済学科、地域政策学科、 流通・経営学科
国際情報学部	国際交流学科、情報メディア学科
看護栄養学部	看護学科、栄養健康学科
大学院	経済学研究科、国際情報学研究科、 人間健康科学研究科

2008年に「長崎県立大学」と「県立長崎シーボルト大学」が統合。長崎の歴史・文化・地理的特性を踏まえ、県立の大学として、地域経済の発展と県民の健康・生活・文化の向上を図る学術文化の中心としての役割を担うべく、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」「長崎に根ざした新たな知の創造」「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を理念としている。

## 長崎国際大学

人間社会学部	国際観光学科、社会福祉学科
健康管理学部	健康栄養学科
薬学部	薬学科
大学院	人間社会学研究科、健康管理学研究科

2000年開設。人間尊重を基本理念に、専門知識と技能に加えて、知性、感性、人間性の備わった人材の育成、地域から愛され、地域社会に貢献できる人材の育成、異文化を理解し国際社会に貢献できる人材の育成を目標とし「いつも、人から。そして、心から。」をモットーとしている。また、全学共通科目の「人間理解」分野で「茶道文化」をとりいれ、ホスピタリティの探究・実現を目指している。

# 総括（在宅医療・福祉コンソーシアム長崎専任教育職員）

長崎大学医学部医学科助教  
山之内 孝彰

在宅医療・福祉コンソーシアム長崎では、今年度も多くの授業科目を開講した。低学年を対象とした「在宅チーム医療早期体験学習」では、他学部学生の視点の違いを感じるとともに、自身の将来の専門職の在宅医療における役割を考える機会となったようである。高学年対象の「在宅がん治療特論」では在宅へ移行するがん患者に対する模擬カンファランスを学生自ら行うことで、学生自身が患者や取り巻く問題点を深く考察出来たと思う。来年度以降、さらに有意義だと感じられる科目となるよう、ブラッシュアップしていきたい。

長崎大学医学部保健学科助教  
江口 真美

在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の提供科目を受講した学生は、在宅がん医療および緩和ケアについて学び、今後の自分自身の課題や自分には何ができるのか考えており、在宅がん医療・緩和ケアについて意識を高める機会になったと考える。多学部で学ぶことで、新たな視点に気づき、多職種連携の必要性も理解できていた。多職種連携にはコミュニケーションが重要であり、在宅がん医療・緩和ケアについて学ぶと同時に、色々な専門分野の学生と関わる中で連携する能力も養える場となるよう、今後も努力していきたい。

長崎大学歯学部助教  
介田 圭

薬学・看護学の統合教育体制に医学・歯学等の教育者を加え、「長崎薬学・看護学連合コンソーシアム」事業を、さらに拡大・充実させた「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が組織され、約1年が過ぎた。在宅医療・がん医療・緩和ケアに関わる専門職連携教育を大学間合同実習として実践できるカリキュラムを作成し、多職種協働の理解がより深まり、大学間連携教育の実質化の第一歩を踏み出せたのではないかと考えている。来年度からは、その質の保証を図りたいと考える。

長崎大学薬学部准教授  
江頭 かの子

今年度新たに立ち上げた科目である「地域包括ケア早期体験学習」は、低学年次学生が長崎市内の地域包括支援センターの実務見学・体験を通して、地域特性や高齢者をはじめとする地域住民のニーズ、それに対する支援などを学ぶ実習であった。初めての試みであったが、実習施設のご協力のもと、学生は医療と福祉、両方の視点から地域住民を支える必要性を学びとり、多職種連携について考える力をしっかりと身につけることができたのではないと思う。

長崎県立大学看護栄養学部看護学科准教授  
吉原 律子

多職種と連携して行動する能力は「患者（療養者）のQOL向上を支援する」という共通目標をもつ医療・介護職には必須のものである。そしてこの一年、本事業の取組みがその能力育成につながることを参加した学生の皆さんが教えてくれた。来年度は、それらを基に、各専門性を理解することとそれらをつなぐことの意味、そのために何が必要かを学生の皆さんが主体的に学び合えるよう、広報を含め支援していく。

長崎国際大学薬学部准教授  
岩下 淳二

学生参加型の早期体験学習や「在宅がん治療特論」では、初めて目にする現場の専門職のことや自身が目指す専門職以外の職種にも強い関心を示し、進んで学習する姿勢が見られた。在宅医療の現場や地域包括支援センターの訪問を通じて患者さんや介護利用者の立場に立った生きた学習ができたものと評価している。来年度は長崎国際大学では新規に2つの科目を立ち上げるようになっており、より充実した科目の開発に努めたいと思う。

# おわりに

長崎大学薬学部教授  
中嶋 幹郎

平成24年9月に採択された本事業は平成28年度までの5か年事業ですが、2年目になる平成25年度は、事業の本格実施に取り組む極めて重要な時期にあたります。そこで平成25年度は、本取組テーマに沿った内容の授業9科目を3大学が協議し合同開催する形で、長崎県内の大学における単位互換制度である「NICEキャンパス長崎」へ登録することができました。その中の7科目は「NICEキャンパス長崎」のために特別に開講したコーディネイト科目です。これらの科目の中へは様々な授業方法の科目を用意していますが、専任教員が担当する2つの実習科目（在宅チーム医療早期体験学習、地域包括ケア早期体験学習）と1つの演習科目（在宅がん治療特論）は学生が積極的に参加する能動型の授業で、履修した多くの学生達が自ら主体的に学ぶ姿が印象的でした。また平成26年1月には初めての評価委員会が開催され、「これまでの取組については、全ての項目について当初の予定通りあるいは予定以上に実施されており、今後の取組の更なる展開を大いに期待したい。」との総評を頂戴しました。平成26年度は当初計画に掲げた13科目を開講し「NICEキャンパス長崎」へ登録する予定ですが、事業評価を受けての改善と更なる充実が大きな課題になります。来年度は今年度を超える履修者を集めることができるよう、関係者一同努力していく所存です。今後とも本コンソーシアムの活動に対するみなさまのご支援とご指導をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

---

長崎県立大学看護栄養学部看護学科教授  
松本 幸子

本事業も2年目になり、新しい科目としてNICEキャンパス提供科目「地域包括ケア早期体験学習」が開講し、地域包括ケアについて全国的にみても先駆的な学習機会として、主に長崎市の地域包括支援センターにおいて実習を実施した結果、大きな学習成果が得られました。また、「在宅がん医療・緩和ケア合同実習」の次年度単位化に向け、3月に大規模トライアル実習が実施されます。平成26年度は、長崎薬学・看護学コンソーシアム事業から継続した開講科目とともに5年間の本事業の大学間単位互換科目の開発計画に沿った活動として、中間年度にあたり、平成25年度までの事業評価を受けての改善とさらなる充実が課題となります。連携する長崎県立大学としては看護学科、栄養健康学科、情報メディア学科の学生、教員が積極的に参加、協力することで大学間、専門職種間の連携・協働を実践から学んでいると感じています。次年度も関係機関の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

---

長崎国際大学薬学部教授  
榊原 隆三

「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」は、平成24年度大学間連携共同教育推進事業「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」を推進するため、長崎県内の大学・職能団体・行政から組織されました。本事業の推進のための大学の責務は、在宅医療と福祉、がん緩和医療と福祉に対する使命感や志を持つ学生を一人でも多く育て地域に送り出したいという点にあります。長崎国際大学の薬学部、健康管理学部、人間社会学部の3学部は、本コンソーシアムの一員として、それぞれの特徴を活かした事業参画および活動を行ってまいりました。平成25年度は、「在宅医療概論」、「在宅チーム医療早期体験学習」、「地域包括ケア早期体験学習」、「在宅がん治療特論」、「在宅がん医療・緩和ケア合同実習トライアル」を開講し、一定以上の受講者を集め、在宅医療・福祉およびその実践に極めて重要な意味を持つ多職種連携に関する啓発活動を実践しました。さらに、各種専門職および一般市民の方に在宅医療・福祉および緩和ケアについてご理解を深めていただく目的で、長崎県民フォーラム「考えよう！これからの在宅がん医療をー痛みを緩和と生活のうらおいー」と題して、佐世保市において主催いたしましたところ、多くの方に出席していただくことができました。今後とも、「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の活動に対するご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組

# 多職種協働による在宅がん医療・ 緩和ケアを担う専門人材育成拠点 平成25年度 年間活動報告書

平成26年3月31日 発行



**在宅医療・福祉コンソーシアム長崎**

<http://www.hhc-nagasaki.jp/>

長崎大学（代表校）

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2460

長崎県立大学（連携校）

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

TEL: 095-813-5172

長崎国際大学（連携校）

〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7

TEL: 0956-20-5611

\*本テキスト掲載の著作物の無断複製・転載を禁じます

